



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成24年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成24年9月	平成24年12月	前回調査比
茨城県	42.3	38.2	△4.1
県北地域	38.6	33.9	△4.7
県央地域	47.2	38.9	△8.3
鹿行地域	42.8	39.7	△3.1
県南地域	47.3	41.0	△6.3
県西地域	36.6	37.5	+0.9

《景気の先行き判断DI》

	平成24年9月	平成24年12月	前回調査比
茨城県	45.5	40.7	△4.8
県北地域	46.6	38.8	△7.8
県央地域	47.2	41.2	△6.0
鹿行地域	47.5	39.7	△7.8
県南地域	49.1	43.9	△5.2
県西地域	37.5	40.1	+2.6

平成25年1月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先
茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642
ホームページアドレス
<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

※平成24年12月1日現在

地域	市 及 び 郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	39	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	17	16	19	20	91
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	4	5	4	4	21

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成24年12月調査の調査期間は、平成24年12月1日から平成24年12月31日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは38.2となった。平成24年9月の調査（以下、「前回調査」という。）より4.1ポイント低下し、横ばいを表す50を21期連続で下回った。

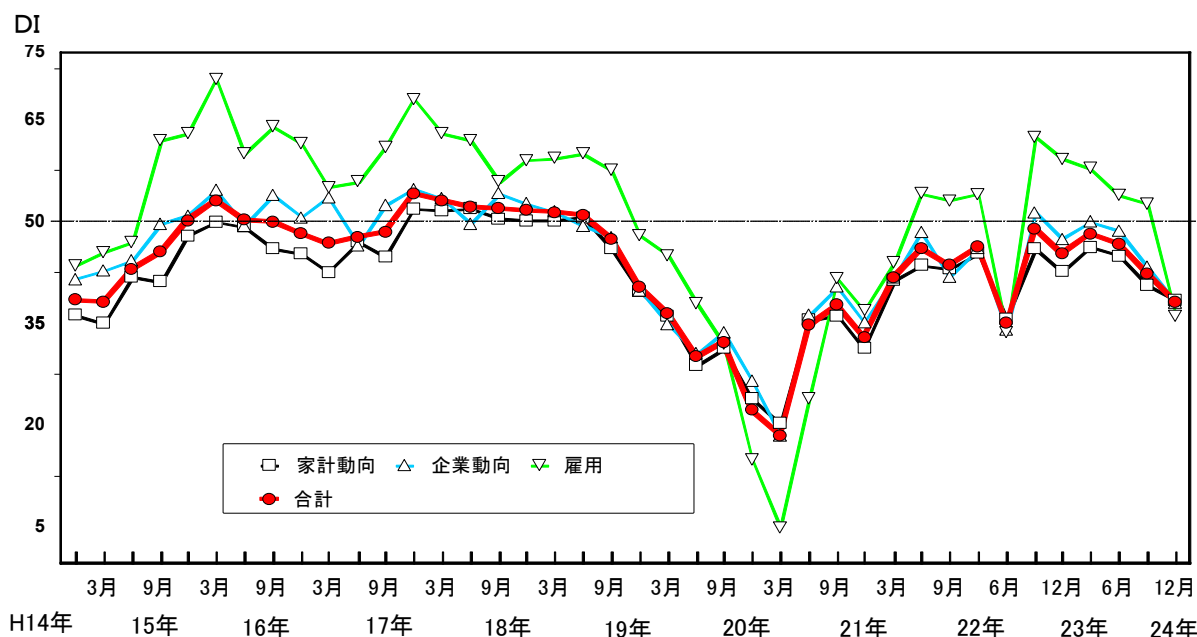
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		45.3	48.2	46.7	42.3	38.2
家計動向関連		42.7	46.2	44.9	40.7	38.4
小売関連		39.1	48.5	41.5	43.5	37.3
飲食関連		55.0	38.2	55.6	40.5	41.7
サービス関連		43.7	46.5	45.1	38.0	37.5
住宅関連		40.6	41.7	47.2	41.7	47.2
企業動向関連		47.4	50.0	48.6	43.4	38.1
農林水産業		43.8	40.6	43.8	34.4	50.0
製造業		44.8	45.3	47.3	41.5	34.5
非製造業		51.4	58.1	51.4	47.9	39.6
雇用関連		59.2	57.9	53.9	52.6	36.1

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	2.6%	17.6%	46.2%	26.0%	7.7%
平成24年3月	1.5%	21.9%	53.2%	14.9%	8.6%
平成24年6月	1.8%	21.6%	42.8%	29.1%	4.7%
平成24年9月	0.7%	16.9%	43.7%	28.5%	10.2%
平成24年12月	0.4%	10.8%	42.2%	34.3%	12.3%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3 か月先の景気の先行き判断DIは 40.7 となった。前回調査より 4.8 ポイント低下し、横ばいを表す 50 を 20 期連続で下回った。

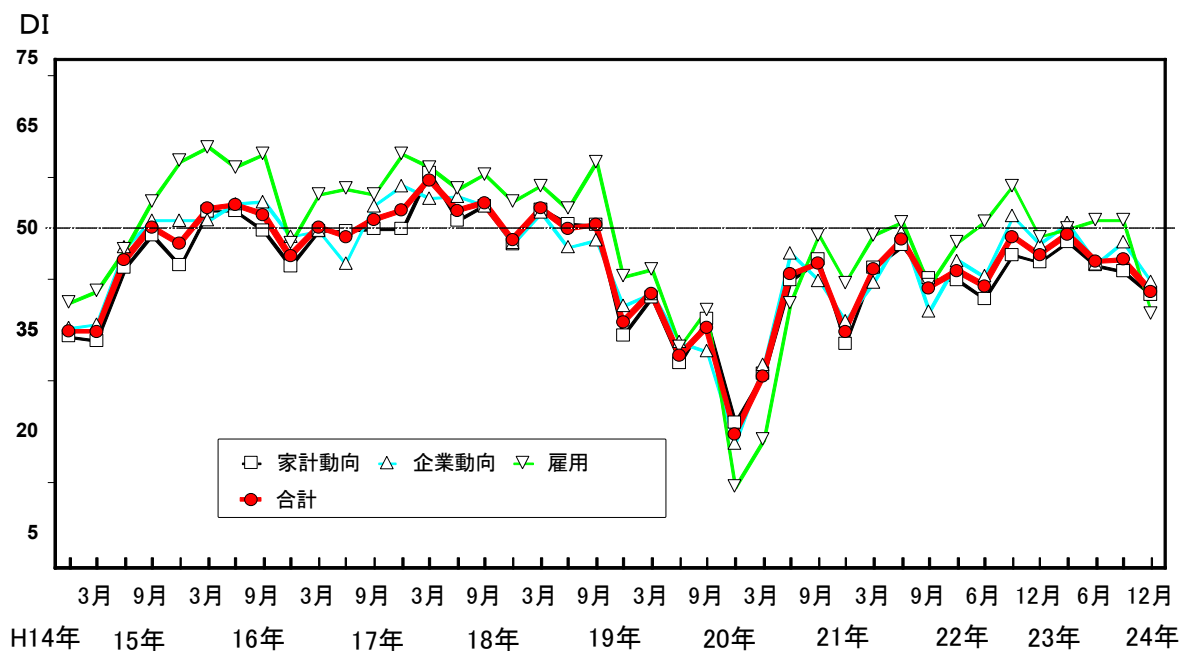
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年 12月	平成24年 3月	平成24年 6月	平成24年 9月	平成24年 12月
合計		46.1	49.1	45.1	45.5	40.7
家計動向関連		45.0	48.0	44.6	43.7	40.3
小売関連		45.3	48.5	44.4	44.2	42.3
飲食関連		48.3	51.5	48.6	48.8	35.7
サービス関連		44.6	46.5	44.1	41.7	38.9
住宅関連		40.6	50.0	41.7	44.4	47.2
企業動向関連		47.7	50.9	44.7	48.0	42.2
農林水産業		50.0	43.8	53.1	46.9	50.0
製造業		45.9	49.4	42.4	43.8	39.3
非製造業		49.3	54.4	45.7	53.6	43.8
雇用関連		48.7	50.0	51.3	51.3	37.5

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.1%	15.1%	58.5%	18.0%	7.4%
平成24年3月	0.7%	23.4%	52.4%	18.2%	5.2%
平成24年6月	0.4%	15.5%	52.2%	28.1%	4.0%
平成24年9月	1.4%	15.1%	55.3%	20.4%	7.7%
平成24年12月	0.4%	9.0%	54.2%	26.0%	10.5%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは33.9となった。前回調査より4.7ポイント低下し、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		44.5	49.1	42.4	38.6	33.9
家計動向関連		41.4	46.3	39.2	33.8	32.4
企業動向関連		48.5	52.9	46.1	44.7	35.5
雇用関連		58.3	58.3	58.3	58.3	41.7

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.8%	21.8%	43.6%	18.2%	14.5%
平成24年3月	1.9%	24.1%	53.7%	9.3%	11.1%
平成24年6月	0.0%	20.3%	33.9%	40.7%	5.1%
平成24年9月	0.0%	13.6%	40.7%	32.2%	13.6%
平成24年12月	0.0%	12.5%	32.1%	33.9%	21.4%

② 県央地域

景気の現状判断DIは38.9となった。前回調査より8.3ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.8	50.0	44.5	47.2	38.9
家計動向関連		41.2	48.3	43.6	48.6	40.4
企業動向関連		54.4	52.9	47.1	43.3	35.3
雇用関連		66.7	50.0	41.7	50.0	41.7

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.9%	24.1%	38.9%	29.6%	5.6%
平成24年3月	4.0%	16.0%	60.0%	16.0%	4.0%
平成24年6月	0.0%	23.6%	40.0%	27.3%	9.1%
平成24年9月	1.9%	15.1%	54.7%	26.4%	1.9%
平成24年12月	0.0%	11.1%	42.6%	37.0%	9.3%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは39.7となった。前回調査より3.1ポイント低下し、横ばいを表す50を20期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		43.4	49.1	49.1	42.8	39.7
家計動向関連		41.7	50.0	52.7	42.8	36.5
企業動向関連		45.3	43.3	42.2	39.1	51.8
雇用関連		50.0	60.0	45.0	55.0	30.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	3.5%	12.3%	49.1%	24.6%	10.5%
平成24年3月	0.0%	26.8%	48.2%	19.6%	5.4%
平成24年6月	1.7%	22.4%	50.0%	22.4%	3.4%
平成24年9月	0.0%	22.0%	40.7%	23.7%	13.6%
平成24年12月	0.0%	12.5%	41.1%	39.3%	7.1%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは41.0となった。前回調査より6.3ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		45.9	48.2	54.4	47.3	41.0
家計動向関連		41.7	46.2	48.3	43.2	44.5
企業動向関連		52.8	51.4	61.8	51.4	37.5
雇用関連		50.0	50.0	68.8	62.5	25.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	3.6%	14.5%	49.1%	27.3%	5.5%
平成24年3月	1.8%	18.2%	56.4%	18.2%	5.5%
平成24年6月	3.9%	27.5%	51.0%	17.6%	0.0%
平成24年9月	0.0%	25.5%	43.6%	25.5%	5.5%
平成24年12月	0.0%	7.5%	56.6%	28.3%	7.5%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは37.5となった。前回調査より0.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を21期連続で下回った。

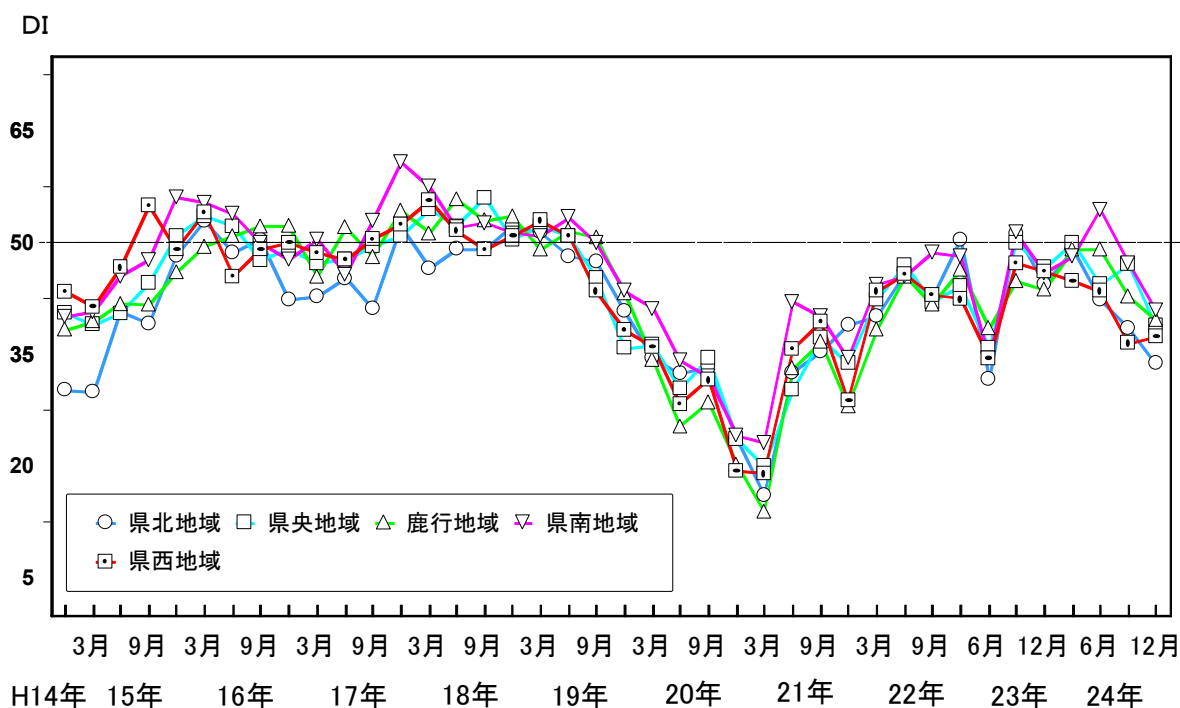
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.2	44.9	43.6	36.6	37.5
家計動向関連		48.3	39.8	40.3	35.7	38.9
企業動向関連		36.8	48.6	46.3	38.2	33.3
雇用関連		75.0	68.8	56.3	37.5	43.8

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.9%	15.4%	50.0%	30.8%	1.9%
平成24年3月	0.0%	24.1%	48.1%	11.1%	16.7%
平成24年6月	3.6%	14.5%	40.0%	36.4%	5.5%
平成24年9月	1.7%	8.6%	39.7%	34.5%	15.5%
平成24年12月	1.7%	10.3%	39.7%	32.8%	15.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは38.8となった。前回調査より7.8ポイント低下し、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		43.2	47.7	42.8	46.6	38.8
家計動向関連		41.4	43.4	41.9	47.3	39.0
企業動向関連		45.6	54.4	43.4	43.4	40.8
雇用関連		50.0	58.3	50.0	58.3	25.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	0.0%	16.4%	52.7%	18.2%	12.7%
平成24年 3月	1.9%	18.5%	55.6%	16.7%	7.4%
平成24年 6月	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%
平成24年 9月	5.1%	11.9%	55.9%	18.6%	8.5%
平成24年12月	0.0%	7.1%	57.1%	19.6%	16.1%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは41.2となった。前回調査より6.0ポイント低下し、横ばいを表す50を21期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.7	49.5	45.9	47.2	41.2
家計動向関連		43.9	49.1	45.0	45.7	40.4
企業動向関連		51.5	51.5	48.5	51.7	45.6
雇用関連		50.0	50.0	41.7	41.7	25.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.9%	18.9%	49.1%	24.5%	5.7%
平成24年 3月	2.0%	24.0%	48.0%	22.0%	4.0%
平成24年 6月	0.0%	14.5%	58.2%	23.6%	3.6%
平成24年 9月	1.9%	20.8%	47.2%	24.5%	5.7%
平成24年12月	0.0%	11.1%	48.1%	35.2%	5.6%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは39.7となった。前回調査より7.8ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.1	52.2	48.7	47.5	39.7
	家計動向関連	44.4	52.8	51.4	45.4	37.8
	企業動向関連	50.0	53.3	42.2	50.0	42.9
	雇用関連	45.0	45.0	50.0	55.0	45.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.8%	12.3%	64.9%	10.5%	10.5%
平成24年3月	0.0%	32.1%	50.0%	12.5%	5.4%
平成24年6月	1.7%	17.2%	58.6%	19.0%	3.4%
平成24年9月	0.0%	13.6%	71.2%	6.8%	8.5%
平成24年12月	0.0%	5.4%	57.1%	28.6%	8.9%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは43.9となった。前回調査より5.2ポイント低下し、横ばいを表す50を20期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		44.5	47.3	47.1	49.1	43.9
	家計動向関連	43.9	51.5	48.3	44.7	44.5
	企業動向関連	47.2	38.9	42.6	54.2	44.4
	雇用関連	37.5	50.0	56.3	62.5	33.3

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	0.0%	9.1%	65.5%	20.0%	5.5%
平成24年3月	0.0%	18.2%	60.0%	14.5%	7.3%
平成24年6月	0.0%	13.7%	60.8%	25.5%	0.0%
平成24年9月	0.0%	21.8%	56.4%	18.2%	3.6%
平成24年12月	0.0%	7.5%	67.9%	17.0%	7.5%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは40.1となった。前回調査より2.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

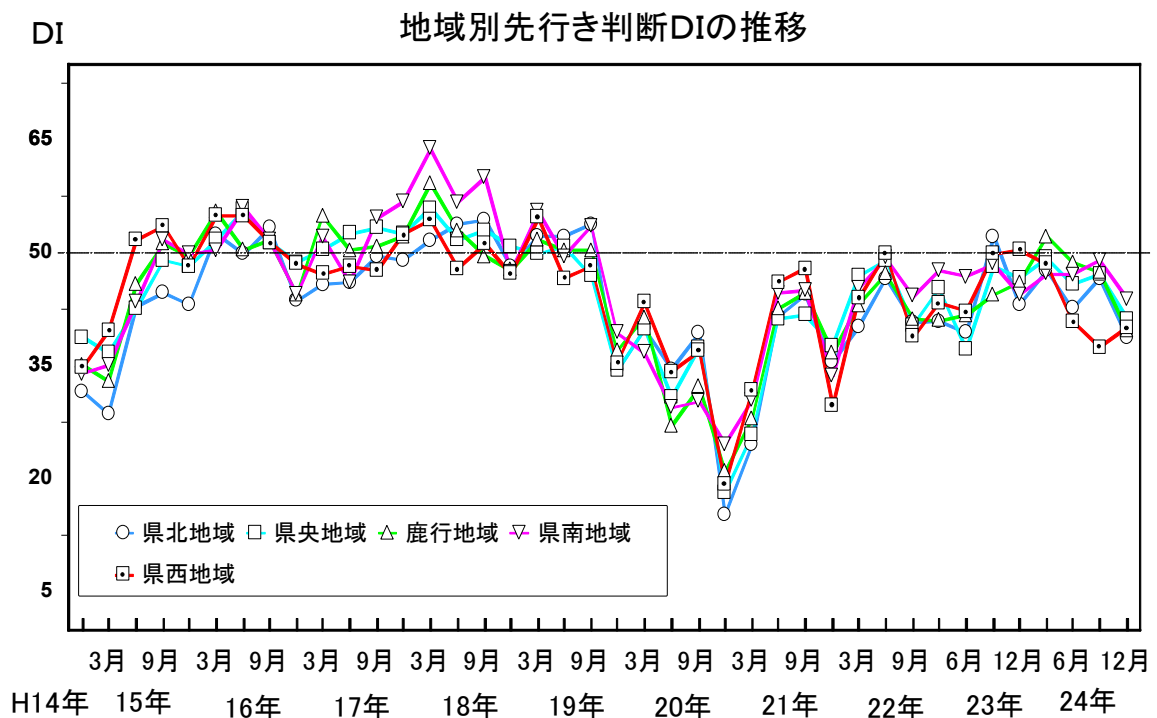
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年	平成24年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		50.5	48.6	40.9	37.5	40.1
家計動向関連		52.6	43.8	35.5	35.0	40.3
企業動向関連		44.7	56.9	46.3	42.1	37.5
雇用関連		62.5	50.0	56.3	37.5	50.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年12月	1.9%	19.2%	59.6%	17.3%	1.9%
平成24年 3月	0.0%	24.1%	48.1%	25.9%	1.9%
平成24年 6月	0.0%	16.4%	36.4%	41.8%	5.5%
平成24年 9月	0.0%	8.6%	44.8%	34.5%	12.1%
平成24年12月	1.7%	13.8%	41.4%	29.3%	13.8%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	277 人	92.3%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県中央地域	60 人	54 人	90.0%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	53 人	88.3%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	小売業（燃料）	販売量が若干回復した。
		スナック	週末等の道路の混雑や商業施設の賑わいから、やや良くなっていると思いました。
		観光型ホテル	9月と比べると客の動きがあり、活性化している。
		観光型ホテル	昨年同期と比較して日帰り宴会利用が増加している。
	企業	製造業（精密機器）	仕事が増えている。
		製造業（電気機械器具）	受注量の増加。
製造業（電気機械器具）		売り上げ、生産台数がやや増えた。	
変わらない	家計	スーパー	300m先に競合店が出店しても、客数・売り上げが変わらない。
		衣料品販売店	大きな変化は見られない。
		金物・荒物・建築資材	売り上げが横ばい。
		小売業（酒類）	自分なりに品揃えを重視しているが、店頭販売に進展が見えない。客数の減少に歯止めがきかない。
		小売業（水産物）	今後も景気が良くなる見通しが感じられず、お客様の購買意欲が上昇する気配がない。
		レストラン	売り上げも同じ位ですし、客足からみてそう感じます。
		タクシー運転手	年末はタクシー業界の一番の繁忙期ですが、12月上旬まででは本当に忙しい感じはない。この時期夜の飲食店の送迎が中心となるのですが、二次会・三次会と続かず、早めのご帰宅となっているようだ。そうなると電車・自家用車での迎え等となり、タクシーの出番は少なくなる。
		ゴルフ場	首都圏からのお客様来場が増えてきたが、プレー単価は下げ傾向である。来場はシニア世代が多く、余計な出費は極力抑えている。
		理・美容店	街中への人出・人通りが少ない。バス利用者が少ない。
	企業	林業関係者	材価も期待しているほど上がらず、流通はしているが山主等も私達も不安である。全般に変動がない。
		水産業関係者	3か月前と比較し、何も変化を感じない。
		製造業（一般機械器具）	受注量および発送量がほぼ横ばいの状況である。
		製造業（電気機械器具）	これといった変動がない。
		建設業	建設業界は忙しい状況が続いているが、お客様の中には厳しくなっているという声も聞かれる。
不動産業		不動産に関する受注件数は大きな変化見られず。	
雇用	学校就業関係者	公共職業安定所から紹介される職業訓練受講者の応募者が横ばいである。	
	求人開拓員	内職が出たので仕事量が増加したと思いましたが、高齢者が辞めた補充で、景気上昇ではなかった。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	地元大手企業同士の合併の影響、大規模リストラや下請け企業などの帰休も増えてきている状況で、予約商品（月末）の反応も良くない。一方で販促セールも反応等が良くなっている部分もある為、極力出費を抑えたい心理があるのでは。
		自動車販売店	例年であればこの時期は新卒者向けの車が徐々に動き出すところであるが、市場は冷えている。大型車や中古車はあまり活発に動かず、燃費や価格を重視している傾向があり、景気が悪くなっていると感じる。
		小売業（時計）	昨年より確実に客数が減っている。当方の商店会も全国の例にもれず、大型店（郊外型）に完全に押され通行人が減っている。
		居酒屋	来客数が少ない。
		和食食堂	7月初旬以降、売り上げは下落している。9月以降も11月も同じ状態である。
		旅行代理店	今月、来月は選挙などの影響で、公務員の忘年会や旅行等が中止・延期になっている。
		タクシー運転手	一部企業の合併等により人員削減案が出ているので、忘年会等も控えている。
		タクシー運転手	飲食店の方々と話すと、一様に悪くなっているとの声を耳にする。
		ドライブイン	昨年同期より売り上げ・客数ともにやや下降傾向。例年12月入り際はお客様の動きは鈍いが、今年は特に入りの傾向が悪い。11月は昨年と比較して良かったせいもあり、余計に落ち込みを感じる。

やや悪くなっている		ボウリング場	お客様の話などを聞くと、仕事が減っている、残業が少ないという話である。
		レジャー施設	全般的に客単価が減少傾向にある。
		住宅販売会社	集客が増えない。消費税増税の様子見か。
	企業	製造業（電気機械器具）	以前に比べ受注が減り、生産が停滞してきている。
		運輸業	顧客の生産台数・生産数量が落ちている。
		情報通信業（情報サービス業）	商談も少ない中、競争も激しい状況で、受注するために価値を下げてでも受注せざるをえない。
		金融業	外部環境の悪化に伴い、経営者は設備投資に慎重である。総体的に見て売上げは横ばいか、やや減少傾向にあり、既存の貸出金に対する条件変更の相談が依然として多い。
		サービス業（広告業）	例年受注があったところが減少している。
	雇用	公共職業安定所	新規求人は、震災以降の23年4月以降前年同月比が増加傾向に転じ、24年9月まで前年同月比18か月連続での増加となっていたが、24年10月減少に転じた。この要因のひとつとしては、本年12月以降管内主要企業での早期退職・退職支援制度の実施予定があり、下請け企業等への影響があるものと思われる。なお、有効求人は22年6月以降29か月連続での増加を続けており、24年10月は0.83倍（24年9月は0.88倍）となっているが、雇用情勢面では非常に厳しい状況にある。 また、当地域はものづくりの街といわれており、製造関係の就職希望者が多いが、10月の新規求人の製造業を見ると対前年同月比51.7%の大幅な減少傾向となっており、円高や生産の海外移転等により厳しい状況になっている。
	悪くなっている	家計	商店街代表者
スーパー			各社価格競争をせざるをえない状況。気どってられない。客単価は下がり続けている。
コンビニエンスストア			商品の動きの悪さが見られる。
小売業（工具）			全体的な受注と業界を問わない客先の投資意欲が大幅に少なくなっている。
タクシー運転手			1日売り上げも平均が前回より3,000円程下がった。（1か月で言えば約60,000円下がったことになる）
ゴルフ場			右肩下がりで、入場者売り上げが前年対比で悪い。
ゴルフ場			月初予約数では7～9月に比し、10～12月は－5ポイントに流れが悪くなっている。10～12月の来場者数は、7～9月に比し、－15ポイントダウンの状況である。世界経済、日本経済の動向に加え、政治不安が国民生活を圧迫している。先行不安が増大し、レジャー・観光事業への需要が減退している。
クリーニング店			客数の減少が大きく、景気が良いとは思えない。
企業		製造業（製缶）	前年同月比、3か月前比、ともに売り上げが減少している。
		製造業（電気機械器具）	部署によって業務量の偏りがある。原子力関連の部署は業務量が少なく、一般産業向け、特にスマートフォン関連は極端に多い。平均してみれば少ない。
	製造業（輸送用機械器具）	仕事の受注量が全体的に減っている。	
	製造業（輸送用機械器具）	尖閣諸島問題による中国での日本車販売不振によって全メーカーの中国生産が大幅に減少。これによって中国輸出が激減し国内生産に大きなインパクトとなった。一方、国内はエコカー減税の延長なるも大幅な販売への起爆剤にはなっておらず、一部新車種やカメラ搭載車種が好調なるも全体で横ばい。また、北米は好調なるも欧州が不振にて全体を押し上げるまでの影響となっていない。	

(2) 県央地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	ー	ー	ー
やや良くなっている	家計	百貨店, 総合スーパー	寒くなってきて, 防寒対策としての重衣料やマフラー, 手袋等が動き出してきた。高額でも良い物が欲しいというお客様が多い様に感じています。
		レストラン	秋のお祝い会シーズンを迎え, 予約が好調に伸びました。
		割烹料理店	忘年会シーズンなので, 11, 12月は飲食業にとってはありがたい月となっています。
		ゴルフ場	シーズンオンの季節に入り客足が伸びている。客単価も若干ではあるが上がってきている。
	企業	建築設計事務所	仕事のない悩みや愚痴が聞こえなくなってきた。だが, 師走の慌ただしさも一時的なことであろう。
		製造業 (印刷・同関連業)	入金状況が改善されたり, 新規提案に対し良い反応がある。
変わらな	家計	商店街代表者	これといった変化はあまりありません。
		スーパー	9月から11月の売り上げ実績は前年100%。セールその他, ポイント付与等を行い, なんとか前年を維持している。今年度の9月から11月も横ばい状態です。
		農産物直売所	差別化された商品・こだわり商品は低調な動きとなっている。飲食部門も価格の高い物は相変わらず動きが鈍い。
		専門スーパー	客数の推移, 売上高の推移共に, 3か月前と何ら変化が見られない。
		スーパー	景気のいい話を聞きません。売り上げの低下に歯止めがかからないので, 年末用の仕入れも減らすという話を聞きます。
		都市型ホテル	特に動き, 変化は感じられません。
		観光型ホテル	相変わらず個人消費が手控えムードにあると思う。
		旅行会社	12月は予約がいつも通りに入っている。
		観光名所	前年同時期に比べ, 来場者数は微減だが, 客単価はあまり変わっていないので, 変わらないと判断しました。
		レジャー施設 (乗馬クラブ)	会員が退会してしまった。会員ではなく, スクール等のお客様が多い。
		レジャー施設	前回の調査時と同じく, 一切広告宣伝をしていないため問い合わせもありませんので判断できません。
		レジャー施設	入場者に関しては, 団体客の回復が若干みられるものの, まだまだ例年並には戻っていない。
		理・美容店	9月はお盆前に (散髪などを) 済ませている人が多かった。11月はお正月に向けて様子を見ている人が多い。
		い	企業
製造業 (食料品)	3か月前と比較して, 売り上げ (前年比) は変わらず, 景気も変わらない。		
運輸業 (道路貨物運送業)	一時期荷動きが悪くなっていたが, 通常に戻っている。		
情報通信業 (情報サービス業)	顧客様子から, 上昇機運が見られた景気は足踏み状態から一步後退と感じる。好況維持の企業も一部見られるが, 投資に関しては全体的に慎重になっているようだ。景況感も良くなっているとは思えない。業界内では, 市場の狭まりから競合が激化し, 期待する利権の確保は殆ど望めない状態との話が多く聞こえる。		
金融業	3か月前と比べて, 取引先の業況に大きな変化はないと感じている。		
サービス業 (広告業)	例年ならば年末年始に向けての受注があったが, その分の上昇は望めない。		
雇用	雇用	公共職業安定所	11月末現在の状況で見ると, 有効求職者は例年9月と比べ減少する傾向であったところ, 本年については当所管内事業所における雇用調整実施の影響により微増となったものの, 有効求人数も微増となったため, 有効求人倍率としては横ばいの状況である。
		求人開拓員	採用者を見ると, パートなど非正規雇用が多く収入に不安定感がある。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	毎年, 11月12月は年賀状の印刷を受注して忙しくなりますが, 今年は厳しい状態で景気がよくありません。チラシ広告やダイレクトメールで新規顧客を開拓しておりますが, 今年は一人ひとりの印刷受注枚数が減ってきており, 高額なデザイン印刷や金箔印刷も減ってきています。また, 郵便局も郵政省の時は年賀はがきを販売するだけだったが, 民間になったら印刷受注業務も行うようになり, 印刷業界にとって大変脅威です。
		百貨店, 総合スーパー	クリスマスや歳暮商戦に入っているため, 3か月前と比較すると売り上げは伸びているが, 昨年と比較すると昨年の売り上げ増による反動減がある。
		スーパー	今政治が安定していないので, どうなるか分からないという不安からお金を使わなくなっているようだ。

やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	客数及び客単価が低下している。安い物やセールを行っても販売が下がっており、価値のない物への出費はしなくなっている。
		家電販売店	電話の問い合わせが大分少ない。
		自動車販売店	エコカー補助金も終わり、まわりの企業の景気も今ひとつの感があります。ボーナスや残業代等も減っているように見受けられ、消費が減退ムードにある。
		レストラン	忘年会シーズンに入り利用は増えているが、昨年と同時期の利用と比べると利用が少なく、客単価も下がっている。ボーナスが下がったような話も耳にしています。
		都市型ホテル	忘年会シーズンに入ったが、昨年より予約が1割少ない。
		旅行代理店	個人・団体旅行の受注が悪化している。
		タクシー運転手	昼夜にかかわらず、乗客が少ない。
		理・美容店	来店回数が少なく長くなりました。年金生活の人達はおしゃれな人達も1000円カットに行くのかな？
		住宅販売会社	販売単価が伸びない。県内でも水戸周辺は販売単価が低い傾向にある。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。
製造業（金属製品）		夏～秋頃は稼働率が120%程度で、それ以降は徐々に落ち着きつつあり、現在は100%程度である。	
製造業（一般機械器具）		8月までと、9～11月は売り上げも注残も悪いです。昨年は10、11、12月上向きで進みました。今年は大変です。	
製造業（精密機械器具）		景気が減速傾向に入ったなどの報道もあり、設備投資の動きに変化が見られます。購入の引き合い情報も、シフト、予定未定の先送り等が出てきています。	
不動産業		全体的に安くて良いものを探す方が多い。	
サービス業（広告業）		販促広告の集客効果が、12月に入っても昨年より上がっていない。	
サービス業（コンサルタント業）		取引先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3か月前よりやや悪くなったところが多い。特に、忘年会やお歳暮、クリスマスケーキ、おせちなどの季節商品の予約状況が例年よりも厳しい。景気を反映してか、数の減少とともに価格の安い商品にシフトしている。	
雇用	人材派遣業	工場の減産に伴い人員の削減が続いている。	
悪くなっている	家計	スーパー	11月～12月にかけて、デフレ傾向が加速している。安売り商品でも売り上げにつながらない。客単価・客数が伸びない。下落している。
		コンビニエンスストア	客単価、客数の減少が目立つ。現場作業員の来店も一時期より減っている。
		ドライブイン	当店の様な観光の施設はまだまだ震災の風評被害が尾を引いているように感じられます。団体のお客様も前年対比50%を下回り、厳しい状況であります。観光会社様もルート変更をしているようでもあります。
	企業	製造業（食料品）	売り上げに好転が認められない。
		製造業（窯業・土石製品）	受注金額・量ともに落ちている。

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	日本料理店	地元の大手企業同士の合併に伴い、あいさつでの会合が多くなった。
		タクシー運転手	相変わらず夜は動かない。日中はわずかではあるが高速バスでの企業への出張が増えたような感じがする。
		理・美容店	お客様の来店サイクルの向上や、客単価の向上等から、家計におけるサービス業への支出が増加しているように感じます。
	企業	製造業（食料品）	季節商品を製造しているので、今が一番忙しくなっています。
		製造業（食料品）	来客数が減っていましたが、11月後半になって増加の兆しも見え始めています。また、客単価の回復は望めず依然として厳しさは続いています。特別注文やネット注文が増え全体の売り上げは増加の傾向を示しています。
建設業	地震の影響で家が傾き、地盤沈下、その他津波で壊れた為に建て替えが多くなっている。		
運輸業（道路貨物運送業）	予測していたよりも貨物の動きがコンスタントに滞りなく行っている状況ではないかと思う。秋口からの貨物の生産の鈍さを心配していたので、良かったと感じている。		
変わらない	家計	商店街代表者	仕事が単発で、忙しい日と暇な日とがある。
		スーパー	大きな変化は感じません。季節的な要因はあり、急な冷えこみで生鮮品の動きが良くなっているが、その他は見当たらない。
		家電販売店	商品単価が下落している。
		小売業（菓子販売店）	9月の売り上げ対前年比と12月の売り上げ対前年比が変わらない。
		小売業（金物店）	需要の低迷で企業の動きがあまり良くないと思います。
		小売業（書店）	客数は若干伸びたが、単価が下がっているため横ばい。
		レストラン	飲酒への交通法上の取り締まりが厳しいため、宴会等が少なくなっています。
		タクシー運転手	今月はボーナス月であり、忘年会等の行事があるので多少の増収があると思うが、全体的には変わらないと思う。
		ドライブイン	景気の動向について、震災後も良いニュースがない。
		ゴルフ場	来場予約の人数が前年と比べるとだいぶ悪くなっているが、ショップ等の売り上げは少しずつ良くなっているため、そう変わらないと思う。
	理・美容店	今この景気では変化が見られない。	
	住宅販売会社	3か月前と比べて、特に展示場の来場者に増減なし。景気が上向き要因もなく、特に変わりはないと感じます。	
	企業	農業関係者	作物全体に当てはまる事だが、価格が高い傾向にあり、消費者の動きが鈍い。価格高騰の理由は、2～3か月前の少雨の影響である。
		製造業（食料品）	相変わらず、物・人の動きがない。
製造業（食品）		震災後の復旧も既に落ち着いており、これまでと変わらぬ日々を過ごしている。	
団体		3か月前と変化が見られない。	
製造業（化学工業）		国内需要が思わしくなく、稼働が上がらない。海外市況も下がっているが、稼働を維持するため輸出に頼らざるを得ない状況。	
金融業		東日本大震災で比較的大きな被害を受けている地域であるが、震災の復興資金需要は一巡したと思われる。	
保険業		若い人の収入が増えず、生活が大変に見える。	
雇用	民間職業紹介業	求人は徐々に増えてきているが、求職者登録が依然少なく、なかなかマッチングが図れない。	
やや悪くなっている	家計	小売業（米穀類）	米以外の生産物の品質が悪く、単価も安いので収益が下がるのではないのでしょうか。
		商店街代表者	大型店や多店舗展開している郊外のバイパス沿いにお客様は流れていて、商店街はますます厳しくなっている。
		スーパー	お客様の買う金額が少なくなり、スーパーの売り上げ自体が下がっている。
		コンビニエンスストア	客単価がやや下がり傾向にある。買い控えの心理、デフレへの懸念があるのではないかと考えます。
		コンビニエンスストア	客数の減少とともに、客単価の減少が続く、極力余計な買い物をしないような消費行動が見られる。
		自動車販売店	地元の企業等で操業の縮小等の話がある。コンビナートの中心企業や関係する中小企業が多数あり、おのずと仕事は減少する。身の周りの人からも同じ様に感じられる。

やや悪くなっている	家計	農産物直売所	土曜、日曜、祝日の集客数が減少している。
		小売業（酒類）	高額品を選択されるお客様（居酒屋）がだいぶ減少している。（商品としては、高級洋酒やワインなど）
		洋食食堂	夜の来店数が少なくなった。土日祭日の来店数も減少気味。
		観光型ホテル	宿泊の予約状況を見ると、少し落ち込んでいる。
		タクシー運転手	前回の調査の時今回の景気の見通しを変わらず現状維持できると思いましたが、売り上げの数字を見るとやや下がっています。そして、夜間の乗車回数が減ってきているので、景気はやや悪くなっていると思います。
		クリーニング店	この時期は結婚式、法事、忘年会等行事が多いので、普段の出費を抑えているクリーニングも何回か着てから急ぎで出して、次の行事に間に合わせている。新しい服は買わないようにしている。ボーナスは下がっているか出ない会社もある。正社員を採らないで、契約社員、アルバイトを募集している。
		室内装飾業	家を建てる人も幾分増えているようだが、まだ着工率が少なく、例え仕事があっても単価の値引きでただ動いているだけだ。
		住宅販売会社	総選挙を控えているからか、様子見のお客様が増えている。
	企業	建設業	受注は増えていると思いますが、経費高騰により利益減少の感じがあると思います。
		不動産業	飲食店、居酒屋、スナックなど、一般的に1週間のうち4日位は暇のようです。スーパーなどにパートとして勤務している方は、全部とは言わないが、パートの時間が少し短縮されているようだ。
		サービス業	北関東地区自動車関連業界からの受注減少。
	雇用	人材派遣業	鉄鋼関係を中心に、自動車、電気とも中国・欧州向け輸出は低調であり且つ国内も自動車販売が不振のため製造関係が大幅に減産基調である。パート、派遣社員の順に期間満了で終了されるケースが目立っている。
		公共職業安定所	製造業では一部休業を実施し生産調整している事業所が見受けられ、窓口での求人意欲の高まりは見られない。
		学校就職関係者	就職活動が厳しい。求人数は多かったが、採用内定が出ない。
就職支援センター		震災需要関係で建設業の求人は依然根強いものがあるが、資格職が多いためミスマッチが続いている。介護関係は恒常的な人材不足とミスマッチが継続する状況にある。製造業は総じて求人は減少傾向にあり、その他の業種も総じてさえない求人状況にある。	
悪くなっている	家計	小売業（薬品店）	客数、客単価ともに下がってきている。薬局・薬店が飽和状態にある中で、競合店や量販店の出店は厳しいものがある。
		割烹料理店	この3か月は過去最低の売り上げだった。
		観光型ホテル	当館の利用状況より「悪くなっている」と判断した。商品の選択は金額のみで判断されてしまう。安ければ何でも良いというような…。
		タクシー運転手	タクシー乗客の大半は高齢者であり、会話の中心は生活での不安等が必ず出てくる。

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント		
良	－	－	－		
やや良くなっている	家計	農産物直売所	売り上げ等には変わりはないですが、新顔（見慣れないお客様、県外等）の客が多く見られる。		
		都市型ホテル	9月、10月においては前年比と変わらなかったが、11月に入って前年より良くなってきている。		
		旅行代理店	紅葉などの旅行シーズンということもあったため、お客様の数が3か月前と比べると増加した。		
		レジャー施設	入場者が微増傾向であるうえ、客単価も微増傾向であるため、やや良くなっていると判断した。		
変わらな	家計	スーパー	景気が良いとは言えないが、前年比の客数、客単価はそれほど変わりはなく、3か月前と比較してもほとんど変わりはない。		
		スーパー	一品単価が低く、客単価が前年比で減少し続けている。売り上げが厳しい状況は変わっていない。		
		スーパー	店としては売り上げは厳しい状況。		
		コンビニエンスストア	前年と月ごとに比較しても、数字の伸びもなく、減少もしていない。商品の買われ方も変わっていない。		
		コンビニエンスストア	お客様の買われ方に大きな変化が確認できていない。		
		小売業（化粧品）	給与・ボーナスの減少により消費・購買意欲が高まるとは思わない。寒波による冬物商品の売り上げに期待。		
		専門スーパー	特に変化が感じられない。		
		ガソリンスタンド	来店客数、1日あたりの給油数量に変化はないが、カーメンテナンス商品の販売にも特に変化が見られない。		
		洋食食堂	ある程度ロケ弁などの仕出しは戻ってきたが、通常営業は常連の企業や客に頼りきりである。		
		洋食食堂	近くに駅が新しく出来ましたが、住宅地の開発・販売状況など半年経過しても半分売れ残りの状態です。アパートの空室も多く、夜の飲食店の来店客の数にバラつきがあるのがわかります。良くなっている感じは受けません。		
		都市型ホテル	3か月前と比較して、ホテル利用の個人客、法人客もそう動きがかわらず、単価も一度下がっておりますがそのままで、特に上がる事もなく、また下がる事も無い。		
		タクシー運転手	会社関係の仕事が一向に戻ってこない。一般のお客様の仕事は、デマンド対応型乗合タクシーにかなり流れているので、お年寄りの病院の送迎が激減している。		
		タクシー運転手	年末の忘年会シーズンに入りましたが、送迎の予約が少ない感じです。会社、友人との忘年会も年々回数が減少しているようです。		
		タクシー会社	売り上げ等が変わらない。周囲を見ても活気が見られない。		
		ゴルフ場	年末に増えるコンペの利用に変化がない。忘年会（コンペも含む）の話題になってこない。（来場者も含めて）		
		ゴルフ場	景気に関しては変わらない。12月は絆コンペ等のシーズンに当たり、それなりに予約は入っているが、それは毎年繰り返される現象のひとつにすぎない。		
		建築設計事務所	リフォームが多いせいか、設計に至る作業がない。		
		住宅販売会社	新規分譲地の売れ行きはまずまず。ただ、建替需要が苦戦している。		
		い	企業	農業関係者	商品等を販売推進しても、必要以上には購入しない。
				製造業（食料品）	周辺でもあまり景気の良い話は聞けない。政治の混迷が原因ではないかと思う。
製造業（食料品）	相変わらず客数・客単価とも低迷している。				
製造業（飲料）	金属加工関連の取引様の話で、金属クズの買い取り価格の値下げが止まらないようだ。				
製造業（印刷業）	来店するお客様の数が増えない。				
製造業（窯業・土石製品）	売り上げは増加しつつあるが、単価はやや減少傾向。				
製造業（一般機械器具）	現在特徴的な動きはない。				
運輸業（倉庫業）	保管貨物の動きは、食品関係は例年同様の入出庫であるが、それ以外の貨物については動きが落ち込み在庫が多くなっている。競合他社が多く、生産・売れ行きとも不調である。				
サービス業（広告業）	例年通りの受注がありそう。				

やや悪くなっている	家計	スーパー	単価下落が止まらない。
		スーパー	土曜日の客数が減少傾向となっており、一品単価も減少している。
		家電販売店	来客の入店数が前よりも減少している。
		和食食堂	寒くなってきているものもあるが、昨年と比べるとお客様が引く（帰る）のが早くなってきている。
		タクシー運転手	前年比も厳しくなっている。
		代行運転手	仕事が減少している。
		理・美容店	電気料金の値上げと政治への不安等、明らかに今後の家計での節約生活を余儀なくされているように思う。
企業	建設業	10月後半から受注がバタッと止まってしまった。どうしたんだろうか。たまたま取引先の3社程、同時にぶつかり仕事がストップしてしまった。客先も受注が少なくなり、小規模の管繕工事も時期をずらしたいと言ってきた。12月の契約を、来年2月にしたいとのこと。こうした延期はこの会社ばかりではない。多数に広がり、受注の影響も深刻である。	
	建設業	本来なら、年末にかけて工事受注量が増えてくるのだが、今年はそれほど多くない。3か月前とたいして変わらない。ということは、景気はやや悪くなっていると判断する。	
	建設業	今冬のボーナスも減少傾向、住宅や店舗建設が活況に転じる施策もなし。震災の復旧疲れとでも言うべきか、昨年に比べ修繕件数は落ちてきている。	
	金融業	不動産等の売買、設備資金の需要は依然として少ない状況である。	
	不動産業	下期に入り内外の暗いニュースの中で、精神面と工業団地関係の低迷により、第3四半期の業績がやや悪くなってきている。製造業の業績が良くないと、我々サービス業も車の後輪の様に悪い影響が出ている。電力・消費税アップ等がマイナスに働くのか、また新体制がプラスに働くのか、どちらに影響が多くなるか今後の情勢判断が難しい。	
雇用	人材派遣業	年末を迎え、時期的に仕事が減る。（例年通り）	
	学校就職関係者	電気事業関連で雇用の減少などの影響が見られるようになっている。	
	求人開拓員	正社員を募集している会社は前回とさほど変わらないが、条件が悪くなっている。例えば、ボーナスは年2か月分のところが年1か月分と言うように。ボーナスなしなども散見する。年収も減っている。	
悪くなっている	家計	タクシー運転手	売り上げが前よりだんだん減っているのが現実に見える。
		ボウリング場	使い控えを感じる。用品（2～3万円）の購入意欲が極端に低くなっている。
企業	製造業（窯業・土石製品）	最近円高局面に歯止めがかかり円安傾向にあるが、8月の野田総理の「近いうち解散」発言に振り回され、経済運営が全く機能していない。このような状態では、消費も設備投資も上向くはずがない。	
	製造業（非鉄金属）	主力取引・大手自動車メーカーの生産状況は国内不振（エコカー補助金打ち切り）と中国と欧州向け輸出が大幅に減少。生産調整が少しずつ出ている。一方では、10月からのコスト低減及び電気料金値上げ、燃料等の高騰分を価格転嫁できず、収益面も悪化している。	

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	衣料品販売店	忙しいため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	冬本番、やや良くなることに期待したい。
		コンビニエンスストア	客数は昨年に対し動きが渋い現状だが、客単価は上がっており、消費を抑えていた反動もできそうな予兆がある。選挙の結果次第では大きく伸長もある。
		和食レストラン	法事や、会社・友人同士の忘年会のシーズンで予約を頂く事も多いため、若干ですが良くなっているように思います。ただ一方で、家族での来客等は減っている感もあります。
		ドライブイン	観光バスが増え、団体客が多くなった。
		建築設計事務所	提出してあった見積りが決まり出した。
	雇用	人材派遣業	仕事の依頼が多くなってきた。
変わらない	家計	スーパー	永らく売上げが低迷しましたが、このところ持ち直しつつあります。かと言って、良くなっているという感じではありません。従って、変わらずとしました。
		コンビニエンスストア	3か月前と比較して、客数といった面では若干悪くなっているように感じますが、11月の給料日やボーナスの影響か、客単価といった面では改善が見られます。結果としてトータルで景気は3か月前と変化していないように感じます。
		家電販売店	最低限必要なものの購入が目立ち、付加価値商品への購入意欲が薄い。
		ビジネスホテル	全体的な客室稼働状況に大きな変化はなく、50～60%で推移しており低調である。本来であればあと10～15%程度アップしていてもおかしくない時期だが。
		タクシー運転手	相変わらず夜の飲食屋の需要は動きが悪く、閉店する店も多い。ちなみに当事業所も、全体で9月度と同様対前年比90%と苦戦している。
		ゴルフ場	予約状況から「変わらない」と判断した。
		ゴルフ場	リピーター層が中心の為、大きな変化は感じられない。
		レジャー施設	お客様との会話や、実際の使用金額から、変わらないと判断しました。
		理・美容店	夏の暑さが9月末まで続き、客の来店サイクルは良かった。10月にその反動はあったが、このところは持ち直している。持続することを願っている。若年層が多くなっていることは喜ばしい。
		理・美容店	来店客数、売上げなどを見てもあまり変わりが無い。年末に増えることを期待したい。
	住宅販売会社	前回の状況とあまり変わっていない。	
	企業	農業関係者	直売所等での1件当たりの金額は変わらない。
		製造業（食料品）	売上げ・労働時間を比較して、月によって多少の増減はあるものの、はっきりした上昇傾向も下降傾向も感じられない。また、実感としてもほぼ現状維持が続いていると感じられる。
		製造業（印刷・同関連業）	猛暑が9月迄続き、やっと涼しくなって1年のうちで最も過ごしやすい秋になったと思ったら、紅葉もあまり楽しむ事もなく、例年にない寒さの冬になってしまった。衣料品業界にとっては、冬物が売れて良いかもしれないが、印刷業にとっては季節商品も年々売上げ減少で寒さを肌で感じている。かつては季節商品（年賀はがき、年末商戦チラシ等）でボーナスも楽に支払う事ができたのに…。
		製造業（印刷・同関連業）	製紙業トップの企業が2000名のリストラを行おうとしている。情報伝達の手段が紙メディアから、スマホ・タブレットの電子メディアに移行しようとしているのであろうか。
		建設業	変わらないが、悪い形で安定している。地域に元気のある企業がない気がします。
		金融業	3か月前と比べ、取引先の業況に変化は見られない。
		製造業（印刷・同関連業）	売上げが上がりません。
		サービス業（広告業）	年末にかけての仕事が例年通りに入っている。
	雇用	就職相談員	医療・福祉業界の有資格者の求人だけがが多く、他の業界の求人は少ない。新規相談者は減っているが、再来相談者が増えており、相談総数は横ばいである。
やや悪くなっている	家計	時計販売店	高額商品が売れない。客数が減っている。
		自動車販売店	年末を迎え、何かとお金がかかります。製造業を含め、全ての業種の社長がため息をついています。
		農産物直売所	客数が減少している。売上げ点数、客単価の増加で売上げを何とか維持していかないと厳しい状況となっている。
		専門スーパー	2012年11月度売上、前年比88%。要因としては、前年の震災需要での木材・石材・セメント等、工事関連品の落ち込みが挙げられる。
		和食食堂	ボーナス時期であるが支給額が下回っているため、忘年会の予約が前年と比べ減少傾向にあり、景気もやや悪くなっている。

やや悪くなっている	家計	ラーメン店	売り上げの数字が下がっている。
		都市型ホテル	忘年会シーズンですが、平日の客足が悪い。
		タクシー運転手	日曜日祭日でもショッピングセンターに駐車している車の数が少なくなっている。買い物客が減っている。
		ドライブイン	来店客数・単価とも伸びておらず、お客様の購買意欲を感じられない。
		日本料理店	来店客数の減少。
		ゲームセンター	前年売り上げよりも下回っているのは同じですが、11月は今までよりも大きく落ちこんだ。
	企業	農業関係者	野菜の価格が年間を通して安いため、貯金残高が一向に増えない状況。他の事業についても実績が伸び悩みの現況。
		製造業（食料品）	総選挙が行われることにより、お歳暮商戦の動きが鈍く感じられます。
		製造業（金属製品）	引き合い件数の減少感があり、先行き不透明感も増してきている。
		電気工事業	取引先の設備投資による工事の注文依頼が減っている。
		不動産業	新築希望が減少し、中古希望が増加している。
雇用	公共職業安定所	10月の新規求人数は8、9月に比べいずれも少なくなっている。製造業の求人が顕著であり、食品関係は増加しているが、自動車関連は減少している。	
	学校就職関係者	製造業大手メーカーの海外調達が進行し、また、国内政情不安から中小企業が活気を無くしている。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	来店客数、客単価ともに低くなっている。
		スーパー	特売商品の販売数が落ちている。売価を下げても数量が上がらなくなる。
		和食食堂	売り上げが減少している。
		旅行代理店	11月後半から、お客様からの注文が激減している。特に12月～1月の旅行（バス旅行）は少ない。自ら企画しても参加者がいないので、中止せざるを得ない状況です。
		タクシー運転手	駅でお客様を乗せても、長距離の客が減っている感じがする。お客様の元気がないのも気になる。特に50歳前後のリストラに関わるような人が元気がない。逆に女性は皆さん平均して元気があるように思う。この点は期待できる事でもあるかと思う。
	企業	製造業（化学工業）	中国・アジア等での配線板・半導体部材メーカーの在庫調整局面継続に加え、自動車部品メーカーの在庫調整局面となった。
製造業（一般機械器具）		自動車の仕事が約30%落ちた。また、お菓子関係の仕事も少ない。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	企業	林業関係者	全体的に変化は見られないと思うが、良くなってほしいと期待を込めて。
		水産業関係者	選挙後のムード的な感じで一時的かもしれないが前向きな状況になるのではないかと思う。
		製造業（輸送用機械器具）	今月から来月にかけてが最悪で、その後少し改善に向かう気がしている。客先の3か月内示等を見ると、この先少し増加傾向にある。
		不動産業	消費税の税率アップに伴う一時的な需要増が見込める。
変わらない	家計	スーパー	3か月先では大きな変化は見られないと思う。（4月なら転勤や入学などで変わるかもしれないけど）
		スーパー	これ以上悪くならないで欲しいが本音。
		コンビニエンスストア	給与やボーナスなどが上昇しないため、昨年以上に消費が伸びると思わない。企業努力で対応して横ばいだと思う。
		衣料品販売店	思ったより寒さが厳しく、買い物に出る人がこれからも少ないでしょう。
		小売業（工具）	国政選挙で多少上向くと思われるが、大手企業の決算期を迎え悲観的見方が多くなるとされる。
		金物・荒物・建築資材	見通しが悪い。
		小売業（燃料）	大きな変化はないと思う。
		小売業（酒類）	実績のある飲食店等は、例年なら週末金曜日は必ず満席であったが宴会予約などが少ない。
		小売業（水産物）	その日その日の必要な物だけを購入されているお客様が多く、その状態が続いているので、正直なところ今の段階では良くなるのか悪くなるのか予想できない。
		小売業（時計）	趣味等には使っているようだが、収入減では余計なものには出費していないと思われる。
		スナック	政治経済が安定していないと思うから、変わらないと判断した。
		和食食堂	12月の忘年会はなんとか予約が入ってきましたが、1月からどうなるのか、いろいろ手を打っています。
	企業	観光型ホテル	原発（事故）の影響が薄れてきている。
		旅行代理店	良い話題もなく変わらない。
		タクシー運転手	企業の見通しが不明であり、また選挙の結果次第だろう。
		タクシー運転手	景気が底を這って進行しているように思われるので変わらないとした。年末の衆院選挙の結果の動向が注目されるころだが、日本や世界の経済状況を見ても好転材料が少ないので、当分先行き不透明、不安のままに景気は進んでいくと思います。当タクシー会社も、お客さんは製造業の大企業が多いので、海外の好不況の影響を強く受けます。
		タクシー運転手	今月12月は金曜日を中心に忘年会シーズンで、多少売り上げが上がるかと思うのですが、年が明けて1、2月は落込む事が予想されるため、トータルでは変わらないと思います。
		ドライブイン	震災後の昨年よりは上向きにしたいが、お客様の財布の紐はかたい。風評被害や実際のセシウム等の影響が減少してほしい。
		ボウリング場	前年並み（100%）に近づくのがやっとだと思います。20代のお客様の減少が見られます。
		レジャー施設	明るい要因が見られない。
		ゴルフ場	ゴルフ場の予約が直近になってきている。コンペを企画しても人が集まらなかったとのコメントが増えている。余暇に関してはなかなか予定を立てても思い通りにならない傾向にあるようだ。しばらく景気は変わらない気がします。
		理・美容店	12月は多少動きは良いかもしれないが、1～2月は落ち込むと思う。
		住宅販売会社	政権が変われば多少の変化はあるかもしれないが、短期的には変化はないのではないかと。
企業	製造業（一般機械器具）	見通しとしての状況が現状と同じ、ほぼ横ばいである。	
	製造業（電気機械器具）	受注減の見込み。	
	製造業（電気機械器具）	今のところは良くなる見込みはない。	
	製造業（輸送用機械器具）	当面、中国の影響が継続すると想定される。	
雇用	求人開拓員	派遣による人材確保で凌いでいるようで、まだまだ景気回復には遠いようだ。	

やや悪くなっている	家計	自動車販売店	自動車販売店はこの3か月が年間の最大需要期であるが、売り上げ増は例年通りと思われる。しかしながら、ガソリンの高騰もあり、売れ筋の車種が限られてくると予想される。消費者は益々シビアになり、利益率が下がる厳しい商談になると思われる。
		居酒屋	売り上げも伸びない。
		観光型ホテル	宿泊、日帰り宴会共に、昨年同期より予約数が減少している。
		タクシー運転手	企業の再編がある。
	企業	製造業（電気機械器具）	1月から3月は、生産計画が落ち込む。
		建設業	先行きについては悪くなるという見方をしているお客様が多い。
		情報通信業（情報サービス業）	景気が良くなる要因が見つからない中、ますます競争が激化するものと思われる。
		金融業	地元大手企業も人員削減や企業合併等により、消費や不動産関連の低迷が更に予想される。消費者の財布の紐はますます固くなるものと思われる。
	雇用	学校就業関係者	高等学校からの入校に関する問い合わせが多くなってきている。高校生の就職内定の数字があまり良くないとのこと。
	悪くなっている	家計	コンビニエンスストア
ゴルフ場			予約の流れが前年に比べ（前年を100とすると）95位の流れになる。計画目標に対し、全体的に現在予約の1～3月状況を見ると40ポイント位の流れになっている。
クリーニング店			ワイシャツなど家庭で洗える物はクリーニングに出さなくなった。
企業		製造業（製缶）	受注先企業の長期予測が、来年以降悪化予測。
		運輸業	「年明けの見通しもあまり良くない」と、各顧客に言われている。
雇用		公共職業安定所	本年12月以降管内主要企業での早期退職・退職支援制度の実施予定があり、下請け企業等への影響があるものと思われる。また現況及び今後の状況等を尋ねると、依然として数か月先の受注はあるが、その後は不確定で動向が不明であるとの説明が多い。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	商店街代表者	今月中旬の衆議院選挙の結果で政権交代となる可能性が高いが、そうなれば、新しい政権に対する期待感もあり、やや景気も良くなるのではという感じがします。
		スーパー	12月の選挙で政権が変われば、景気回復の足がかりになるような気がしますが、大型ショッピングモールが増床開店するので、さらに厳しさが増すと思います。
	企業	製造業(食料品)	現状は厳しい状況であるが、観光のお客が増加してくれると期待して、やや良くなっているとしました。
		製造業(印刷・同関連業)	選挙等の賑わいを感じる。
		サービス業(コンサルタント業)	政権交代が実現した場合、政策面や心理的な影響で景気が上向く可能性がある。また、今年は例年よりも寒い日が多いため、冬物衣料や暖房器具、燃料などの需要が高まり、それらを取り扱う小売店は売り上げが上昇するものと思われる。
サービス業(広告業)	年度末に向けての受注が伸びそうである。		
変わらな	家計	商店街代表者	3か月後の景気は不明です。来店客は横ばいであるが、購入単価が上がらないと景気は良くならない。
		百貨店、総合スーパー	お買物する際はやはり慎重に検討して決める方が多く、この流れは今後も続くと思われる。(リーマンショック後に比べれば良くなっているが、その期間慎重にお買物されていた方は、よく考えてから購入されるケースが今も続いている)
		スーパー	12月商戦次第ですが、今のところ良い方向になる要素がない。
		スーパー	特売商品や低価格のもの利用が多く、必要なものしか購入しない傾向が続いている。この先も続くと思われます。
		家電販売店	先が読めないので最低限必要な物しか買わない。省エネと言っても、故障しなければ買い替えない。
		農産物直売所	ギフト商品の問い合わせが相変わらず少ないままである。
		専門スーパー	厳冬になる可能性が高くなるために、暖房関連品の需要が活発になると思われるが、反面外での作業が鈍くなるため、総合的には変わらないと思われる。
		レストラン	客単価等は大きく変動していない。
		レストラン	良くなる傾向が感じられない。予約状況を見ても伸びが見られないし、単価も上がっていない。
		都市型ホテル	大きな変化は起きないと感じる。
		観光型ホテル	経済活性化等により個人の景況感に変化が出ないと良くなれないと思う。
		タクシー運転手	お客様の声等を聞いても、明るい話はまったく聞けない。
		観光名所	予約状況は例年並、お客様の購買意欲も変わらないと思う。
		ゴルフ場	これからは寒い季節に向かうため予約申し込みが伸びてこない。
		レジャー施設(乗馬クラブ)	レジャーなので必ずしも参加しなくても良いと思っている。また、寒くなるので乗りに来なくなる。
	レジャー施設	団体の予約も増えてきているので悪くならないとは思われるが、風評被害はまだ続き、3か月程度ではこれ以上の回復は見込めないのではないか。	
	理・美容店	うちのお店は田舎にあり、客層は年配の人が多く、いつもと変わらず定期的に来店する方が多い。	
	住宅販売会社	総選挙後どうなるか？結果によって状況は変わるかもしれない。	
	企業	製造業(窯業・土石製品)	受注量が少ない。
		製造業(精密機械器具)	新規取引によるOEMの売り上げが期待できそうな反面、その分自社の売り上げが減少する予想です。
運輸業(道路貨物運送業)		政権の動向にもよるが、当面は大きな変化はないと思われる。	
情報通信業(情報サービス業)		現在の金融市場や政治の動きが、景気にどのような影響をもたらしてくれるのか、読むことは難しい。これから年度末を迎え、各企業の業績見直し後における投資など、市場の動き出しに期待したい。しかし、現在の景況感やデフレ基調などの厳しい状況から、直ぐに景気回復基調に転換するのは難しいと感じており、3か月先の景気も現状推移と考える。	
金融業		当市は商業施設が多いため、年末の売り上げに期待している。しかしながら、小売業では顧客単価が落ちていると聞いている。	
不動産業	現状があまり良くない。		

やや悪くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	昨年の売り上げ増による反動減が予想される。
		スーパー	これからの日本はどうなってしまうのかという話をするお客様がけっこういるので、先行きは暗いと思う。
		コンビニエンスストア	地区の消費を支える製造業が低迷してしまうことで、小売の景気低下はありうらと思う。
		自動車販売店	将来の不安感があり、購買意欲が湧かないように思います。
		レストラン	3か月先の受注分が前年比で下回っています。これからの動向変化もありますが、少しお客様の動きが静かになった気がします。
		都市型ホテル	3か月先の予約状況は、今現在で更に少ない。
		旅行代理店	先行受注動向の動きが悪い。
		旅行会社	11月末より、電話での問い合わせも1日2～3回になってきてしまい、1～3月の予約が入っていない。
		ドライブイン	今後3か月先は当地も1年で一番花（梅）が良い時期を迎えますので、期待を込めて、これでも1ランク上に見せました。
		理・美容店	お正月が来るので当店は良くなるはずですが、去年は今までになく暇でした。今年の暮れも良くならないと思います。景気回復が一番ですので、早くそうなる事を願っています。
建築設計事務所	明るい兆しの情報がない。		
企業	農業関係者	玄そばが原発による風評被害で販売先が確保できない状況となっている。	
	製造業（印刷・同関連業）	良くなる要素が見当たらない。	
	製造業（金属製品）	夏～年末にかけては継続的に稼働率100%以上をキープできるが、年明け以降は大幅に仕事が減少する。	
	製造業（一般機械器具）	「やや悪くなっている」ですれば良い感じです。同業者も仕事が無いと、普通の日に住むケースも出ていますとか。	
	サービス業（広告業）	12月の消費活動の上昇がまいち。このまま年が明けても期待できない。	
雇用	人材派遣業	景気の良くなる要因が見られない。	
	公共職業安定所	当所独自調査等の状況からすると、管内事業所における業況の今後の見通しとしては「不振～やや不振」とする割合が増加しており、特に製造業が顕著となっているため、当所求職者のうち管内製造業の雇用調整による離職者の再就職は難しい状況が続くものと思われる。さらに、例年3月は例年有効求人倍率は今月に比べ上昇する傾向があるが、前記の状況を考慮すると求人倍率上昇が例年の傾向をやや下回る状況になるものと思われる。	
	求人開拓員	求人人数が減少傾向にあります。求職者の来館人数を見ると、若年者の減少が見られます。紹介数は伸びておりますが、なかなか決まらない。また、数ヶ月後に離職する方が多いです。	
悪くなっている	家計	求人開拓員	現状より良くなっているイメージが持てない。
		割烹料理店	3か月後というと、3月という事なので、新年会も落ち着く月で今より悪くなっていると思う。
	企業	製造業（食料品）	好転要因が考えられない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良	家計	タクシー運転手	最近、コンビニ近辺において大型トラック等の交通量が増えてきているように感じるので、景気はやや良くなってくると思います。
		理・美容店	家計の全体的な支出が低下している中で、サービス産業への支出割合が少しづつ多くなってきていると感じる。
	企業	農業関係者	気候が安定しているため、いちごの成育も順調であり、他の作物も同様である。
変 わ ら な い	家計	小売業（米穀類）	収入減の状態なので、商品の流通は緩くなるのではないかと。そのため、景気は横ばいだと思う。
		商店街代表者	年度末ではあるが、近年年度末もたいした仕事がない。
		スーパー	売り上げの大きな変動はなく、客層も固定化、高齢化している。
		コンビニエンスストア	雇用の改善、収入アップが見込めなければ、景気が良くなるということは考えにくい。
		コンビニエンスストア	増税やエコへの関心の高まりで、将来への不安を解消するための貯蓄志向が増し、消費意欲が改善していないと思われる。今後は、良いモノよりサービスへの消費意欲が増す事が予測され、より付加価値の高い商品開発とともにサービス向上が不可欠。
		家電販売店	消耗品、必需品の売り上げは安定しているが、3か月後に高付加価値商品の売れる要素が見えない。
		農産物直売所	給与・賞与の減額から、買い控えが予想される。
		小売業（菓子販売店）	特に変化はなさそう。
		小売業（金物店）	公共事業の工事が半以下に下がり、唯一工事があるのが震災がらみの工事くらいです。
		小売業（書店）	ここ1～2年同じような状況のため、変わらないと判断。
		洋食食堂	お客様の回転が早く、アルコール等を飲まれる機会が少なくなった。単価が高い物の出数が少ない。
		日本料理店	今の景気だと、3か月で良くなる方向まではいっても、実際に数字で表れるのは半年以上かかるのではないかと。
		タクシー運転手	出張時とはかく、その他は会社よりチケットが貰えないとの声を時々聞く。従って、ある程度の遠距離者はタクシー賃まで使って出て歩かないと感じる。
		理・美容店	政治がしっかりして日本全体が元気になってくれると景気が良くなり売り上げ的なものも期待できるが、現状では無理だと思う。
	住宅販売会社	今年度はこのまま変化しないのではないかと。	
	住宅販売会社	住宅をご計画されているお客様の声からも政治の混乱や消費税アップの事から、将来不安を嘆く方が多い。	
	企業	製造業（食料品）	これから暮れ、正月にかけて全ての動きが以前と変わらない。食料品製造業界自体悪い。
		製造業（食料品）	特別注文が長期に続きそうで、売り上げ的に減少をカバーできると思う。だが、依然として店舗売り上げが増えるとは思えず不安は消えない。
		団体	しばらくこの状況のようだ。
		建設業	消費税のかけ込み需要等により、2012～2015年位まで着工棟数が多くなり、また少子高齢化の為2015年より減少すると思う。
運輸業（道路貨物運送業）		年末の総選挙が終わり、その結果で動きが決まらなると予測できないと考えている。今後考えられる事は、TPPの動向で貨物の動きが大きく変化する事である。来年度の予測は、今判断できる材料がない。	
運輸業（道路貨物運送業）		周囲を見ても良くなる状況が全然ない。	
金融業		今後も急激な変化はないと思われる。	
サービス業		円高傾向の継続、国内機械生産の低迷、および中国の景気調整により改善は見込めない。	
雇用		人材派遣業	衆議院選挙の結果次第で、経済対策に力点を入れて取り組んで貰うしか手だてはありません。経済対策・円高是正で民間の元気を取り戻してほしい。
		民間職業紹介業	現状からして、期待できる状況ではない。
	公共職業安定所	臨時・パートの求人の動きはあるものの、正社員求人の増加が見られない。	
	就職支援センター	積極的に求人を増やす企業が少ない。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	好材料に乏しく、商店街の来客数増加に希望が持てない。
		スーパー	季節ごとの催事でのお客様のお買上げが少なくなっている。催事をあまりしなくなっている様子が見られます。
		自動車販売店	日本全体で増税等があり、値上がりもある。気持ちが守りの方向に入るので、良くなるとは思えない。
		小売業（酒類）	回復の要因が無いように思われる。（景気回復の兆しが全く見えず、企業のサークルの忘年会なども今年は実施しないとっていました。）
		レストラン	地元企業合併のため経費削減が多いようです。若い方の集いが少ないです。
		観光型ホテル	宿泊団体数は変わらないが、1団体の参加人数が少ない。
		タクシー運転手	夜の飲食に伴う乗車率の悪さは相変わらずで、この先も良くなるとは思えない。
		ドライブイン	景気が頭打ちになっているため、今後も期待できない。観光など、余暇にお金を使わなくなってしまうのではないかと。
		ゴルフ場	今年度の冬は前年度の冬と違い、寒さが厳しくなると予想されている。業種上客の入り、予約、利益率が減少する恐れがあるため、やや悪くなるのではなかろうかと思う。
		クリーニング店	来年3月は、また卒業式、入学式、結婚式等の行事はあるが、クリーニングは特売日に出してくるため、客単価や利益率は減少である。
悪くなっている	企業	製造業（食料品）	同業の会社がどこも悪い。
		製造業（化学工業）	国内需要がすぐに改善されるとも思われず、原燃料は上昇気味なことから、今後も大きな期待はできない。
		建設業	気持ちとしては良くなってほしいですが、景気上昇に関する良い話題を耳にしません。年度末に向けこみ的に発注がされても、長期的な景気改善にはならないと思います。
		保険業	震災工事も減ってきている。
		不動産業	すべてにおいて政治が悪いような気がします。自分達の事ばかり考えて、財源もないのに本当に将来の事を考えているのか。
雇用	学校就職関係者	企業からの求人が9月以降ほとんどない。	
悪くなっている	家計	小売業（薬品店）	地元大手企業の合併で、その子会社・関連会社は相当なスリム化を求められると思う。先述の理由から、地元会社員の収入は減る傾向にあり、消費者の購買意欲は下がると思う。
		割烹料理店	年末だというのに、選挙もあるし、政治も安定せず、良くなる要素が見当たらない。
		タクシー運転手	近く総選挙が実施される状況から見ても、最近の悪化状態から直ちに改善されるとは判断できない。
企業	室内装飾業	公共事業などの仕事も少なく、あっても請け負うことも望めないし、まして一般住宅の仕事も希望が持てない。	

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良	家計	タクシー会社	政権が自民党に戻り、若干の回復が望めるのではと思う。
		レジャー施設	入場者、客単価ともに微増傾向であるので、3か月先もこの傾向が続き、景気はやや良くなると思う。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	衆議院選挙により政治が安定すれば、徐々に景気は安定していくと思われる。
		サービス業（広告業）	年度末にかけての仕事が入りそう。
変わらない	家計	スーパー	政権が変わって景気対策が早急に実施されれば変化があると思うが、今のところは何とも言えない。
		スーパー	競合店の異なる値下げにより、今後も一品単価、客単価の増加が期待できない。
		スーパー	良くなる要素がない。
		スーパー	良くなる要因なし。
		コンビニエンスストア	突出して売れる商品が出てこない限り、大きな売り上げ変化は見込めない。物余りの時代の中、お金を持っていたとしても欲しいと思う物にしかお金を使わなくなっている。
		コンビニエンスストア	積極的な購買活動は見られない一方で価値を感じることができる商品・サービスへのニーズはあるが、大きな変動は起きないと感じる。
		家電販売店	特にイベント等もなく、しばらくは現状の状態が続くと思われる。
		小売業（化粧品）	総選挙後、すぐには景気・経済対策の効果が現れるとは思わない。
		農産物直売所	良くなる事を期待しています。
		専門スーパー	特に変化が感じられない。
		和食食堂	客単価が下がり、組単価が若干上がっている。または、それらが逆になったりの傾向が続くと思われます。前年比から判断すると、ほぼ変わらないと思います。
		洋食食堂	変わっていくとすれば、個人店の場合どの業種でも年齢が高くなると閉店していく。残った店もテナントとして入居してもらうことも難しい世の中。再生する金もかけられず、古い建物が増えていく。また、介護事業者が増えています。
		都市型ホテル	この先のオンハンド状況も、宿泊・宴会とも大きく変わった様子もない。レストラン部門は、近郊に新規参入店舗も多くなり、苦戦は強いられると予測されるが、景気としては変わらないと思われる。
		都市型ホテル	現状は多少良くなってきているが、3か月先においては今のところ宴会等の予約件数は増えていないため、変わらないように思われる。
		タクシー運転手	年末年始で多少は宴会のお客が増えると思いますが、お店の方に聞いても予約数が少ないと言っているのであまり期待できない。
		タクシー運転手	3か月先では何も改革されない。
		タクシー運転手	景気回復が見込める要素がない。中央政界がキツパリと対策を示さなければ、いつまでも財布の紐は固いと思う。
		タクシー運転手	年末なので多少は良くなるかもしれないが、今後の見通しは厳しい。
		ゴルフ場	季節的に閑散期となることもあり、予約等に大きな変化は見出せない。
	ゴルフ場	お客様の様子等を見ても、また予約状況からも、景気が良くなる兆しは見当たらない。政治の変化により、少しでも良くなる事を期待したい。	
理・美容店	これから12月の売り上げが見込まれるが、確実に前年対比は下がってしまうと予想している。消費に対して消極的に動いている。		
建築設計事務所	相変わらず現況を引きずっているようです。		
企業	製造業（食料品）	特に悪くなる要素も良くなる要素もないが、政治状況により景気が良くなることを期待したい。	
	製造業（飲料）	良くなる話を聞かない。	
	製造業（印刷業）	年度末を迎えるが、景気が良くなる見通しが立たない。	
	製造業（一般機械器具）	現在特に景気が良くなる材料は見当たらない。	
	建設業	年末の情報としては、11月より向こう3～4か月後もこれといった確実な情報も数件のみとなっている。昭和48年の第1次石油ショックより、第2次、第3次と経験してきましたが、来年は国政選挙後の政権が変わった後の景気対策に期待する。企業経営者も今の状態では財布を開こうとしません。そうした雰囲気と言葉の隅々から伝わってきます。見積りは1週間に大・中・小規模4～5件の依頼があった。	
	建設業	民間の受注工事が昨年と比べて少なくなっている。今後もその傾向は続くと思う。また、3か月後は官公庁の発注工事も一段落し景気の伸びは見込めず、景気は変わらないと思う。	

変わらない	企業	建設業（設備工事業）	3か月後は年度末になり、工期などの都合で忙しくなると感じますが、工事件数が増えないと思うので変わらないと判断します。
		運輸業（倉庫業）	現在のところ目立った情報がなく、良くなる要素が見当たらない。
		金融業	小売業は冬物商品の動向が期待されている。しかしながら、外部環境は急激な円高や穀物・原油価格の高止まりに加え、日中関係の悪化があるため、企業業績の回復は難しいと思われる。
雇用	人材派遣業	消費税の増税等による住宅・自動車等のかけ込みによる需要はありそうではあるが、その他景気の上昇が望めるような受注はない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	客数の減少で前年比98%台が続いていて回復の兆しが見えない。
		ガソリンスタンド	消費税増税や政治不信などで生活者の将来への不安が募り、カーメンテナンス商品の客単価が下がる可能性がある。
		洋食食堂	いよいよ駅前から大規模店も撤退する事に至り、今後さらに人々が集まらなくなるのは必至であると考えられる。
		旅行代理店	年末年頭は、行事的なものもあり一般的に支出が増えるので、年明けからの旅行などは近場にするなど節約傾向にあるように思う。ボーナス支給額の減少など先行き不透明な景気の中、消費をおさえようと安価な商品を選ぶ事が多いところから、景気が良くなっているとは思えない。
		住宅販売会社	総選挙により一時的には回復するかもしれないが、長続きはしないのではないかと。その反動により、やや悪くなっていると思われる。
企業	建設業	店舗、施設に対する建設的な投資が少なくなってきた。1件当たりの単価も少なくなってきた。	
	不動産業	為替等を考えても、我々業界はやや悪くなるだろうと判断している。	
雇用	学校就職関係者	看護系専門学校などに一般社会人が入学してきており、高校生が進学しにくい状況があるなどと聞いている。定職に就けないフリーターが増えていくことで、先行きの見通しが立たず経済活動が停滞するのではないかと。女子の雇用情勢の悪化が顕著に見られる。事務の求人には1名枠に100名以上の応募があるとも聞いている	
	求人開拓員	正社員のボーナスが減っている。そのまま消費に影響するであろうから、良くなるとは思えない。	
悪くなっている	家計	代行運転手	賞与が出ない会社も多いようです（中小企業）。ローンを抱えた方が飲食にそこまでお金を落とすとは思えない。
		ボウリング場	総選挙が終わり、その党が政権担当されても、そう簡単には現状打破は難しいでしょう。株価には変動がすぐにくるかも。
企業	製造業（窯業・土石製品）	年末にきての総選挙の影響で、補正、来年度予算も遅れ、新政権が決まって新経済対策が講じられるのは相当遅れることとなる。このような政治の方向性が見えない状態では景気がよくなる訳がないと思う。	
	製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーの3か月インフォメーションと直近の受注量の減少乖離幅が拡大しつつあり、先行き不透明感が強まっている。12月賞与については、減額または不支給で対応せざるを得ない状況にある。	

(5) 県西地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	雇用	人材派遣業	来年仕事の依頼が増える予定です。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	やや良くなっていると期待するのみ。	
		コンビニエンスストア	客単価の改善から、より良い物、価値があるものに対する消費は更に上向きに推移すると思われるため、景気も上向きになると思います。	
		都市型ホテル	良くなるような策を考え努力していく。	
		ビジネスホテル	平成25年1月期の予約が例年より早く、周辺地域での建設工事等活発な動きがありそうである。	
		ドライブイン	今が景気の底であると思いたい。政権の交代があるなしにかかわらず、現状より政治が機能することに期待して、良くなっていると思いたい。	
		建築設計事務所	政権交代、円安など、好感的に受け止め、設備投資に目が向いている。	
	企業	製造業（食料品）	選挙の影響はスポット的なもので、今の円安傾向により日本経済がよい方向に向いて行く事を期待している。	
		電気工事業	円安傾向になってきているので。	
	変わらない	家計	スーパー	自民党の圧勝により、お客様の景気に対する期待感は非常に高いようです。かと言って、消費税の事もあり、手放して喜んで見ようには見受けられません。しばらくは様子見と考えます。
			スーパー	良くなる要因が見つからない。
家電販売店			何かが変わる要素が見当たらない。	
自動車販売店			全体の仕事量が少ないので、変わらないと思います。	
農産物直売所			衆議院選の結果次第で良くなる事を期待したい。	
和食レストラン			12月は年間を通じて景気の良い月なので、それに比較すれば今後良くなる要素はあまり感じられません。個人やファミリーのお客様の単価は下がる傾向にあるため、まだまだ景気回復は感じられません。	
タクシー運転手			3か月後は今より良くなるとは思えないが、過去を振り返ってもプラスになるわけでもないもので、前を向いて仕事に対していけば良い事もあると思って、悪い事は考えずにやっていきたい。	
ドライブイン			政治不安もあり、景気回復はないように思う。	
ゴルフ場			予約状況から「変わらない」と判断した。	
日本料理店			街に活気がない。好条件がない。	
レジャー施設			景気の話になると会話が止まってしまう、期待しているようには見えない。	
理・美容店			今年も昨年より売り上げは伸びているが、総選挙の結果に注目したい。消費の伸張を期待するのみ。	
理・美容店			これまでの売り上げなどを見ても変化が見られない。悪くならないようにしたい。	
住宅販売会社			年度末に向けてテコ入れを図りたいところだが、即効力のある方策が見当たらない。	
企業		製造業（食料品）	得意先の受注情報を得ているが、12月は例年を上回る予定だが1月～3月の受注情報では例年を若干下回りそうだと聞いている。平均すれば現状維持が精一杯だと予想する。	
	製造業（印刷・同関連業）	只今選挙の真只中！政党の乱立もひどい。社会人として、人間として、最も秀れた人に政治を託し、日本の行く末に希望を持ちたいが、目先・口先で有権者をだます人が多い。デフレからゆるやかなインフレになる政策を思いきりやって欲しい。定数削減も勿論だ。		
	製造業（窯業・土石製品）	私達の業種は流行はないし、また消費材ではないので、生活に必要とされる物にお金がかけて、優先順位は後ろに位置する立場です。		
	製造業（一般機械器具）	お菓子関係は来年4月頃にならないと良くなるという話である。自動車関係は良くないまま続くだろう。		
	金融業	建設業は年度末に向けて受注を見込んでいる。しかしながら、小売業においては消費者の購買意欲が依然として低いと思われる。		
雇用	学校就職関係者	短期スパンで見ると好転を望めそうにない。		
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	競合店が増加するため、近隣の店舗では生鮮品や飲料の販売に影響があると予想されます。よって、3か月後の景気は悪化していると思います。	
		衣料品販売店	今が特に忙しいから、現在と比べるとやや悪くなっていると予想する。	
		専門スーパー	震災特需の落ち込みが予想される。	
		和食食堂	同業者と話しをしても皆一様に不景気を口にし、上昇の「気」が感じられない。	

やや悪くなっている	家計	和食食堂	景気の回復が遅れているので、給与の減額等により客単価・利益率が伸びない。当分はこの傾向が続くと思われ、景気はやや悪くなっていると思う。
		ラーメン店	選挙等で国政が停滞している事や、原発停止などで上がった電気料金が要因になると思われる。また、中堅メーカーの電炉会社の私的整理に追い込まれる状態を考えると、やや悪くなっていると思う。
		タクシー運転手	当事業所の年末一時金も昨年の30%ダウンという事で、他社も横並びと聞く。
		タクシー運転手	工業団地に来る客の数も減っているし、工場の残業もないので景気は良くないと思う。
		ゴルフ場	ネット業者によるダンピングの影響で、消費単価の下落が予想される。
		ゲームセンター	新しいゲーム機を入荷しても、店舗全体の売り上げ向上につながっていない。今後も同じ状況が続くと思われまます。
	企業	農業関係者	野菜価格の低迷が続き、上向く傾向が見えない。
		製造業（印刷・同関連業）	円安が進行しているが、インフレが少しでも進行すると、材料費や電力料金が上がり経費が増加する。しかし、製品単価を上げることはできないために、採算が悪化することが考えられる。
		建設業	12月は総選挙があり、政党が決まり安定しないと経済は良くならない気がする。
		不動産業	賃貸希望の中間層がいなくなった。極端に安い物件を探すお客様が増えている。
雇用	製造業（印刷・同関連業）	動きが悪いので売り上げは伸びません。	
	公共職業安定所	自動車関連、輸送用機器関連（プラスチック部品、繊維関係を含む）の製造業は見通しがたらず、人員整理を考えている所もある。	
悪くなっている	家計	就職相談員	先行き不透明感により、長期雇用は増えず、消費は低迷し景気は悪化すると思う。
		商店街代表者	負のスパイラル状態と思う。
		時計販売店	良くなる理由が見当たらない。
		旅行代理店	受注がぜんぜんありません。出費ばかりで、入金がありません。お客様は旅行に出掛けません。
		タクシー運転手	デフレ対策が遅れている。
	クリーニング店	個人のクリーニング点数が減っている。自分の家で洗う人が増えている。	
	企業	製造業（化学工業）	顧客在庫調整局面継続に加え、例年1～3月は中国の旧正月の影響もあり、顧客稼働日が少なくなる。
製造業（金属製品）		新年を迎え、年度末が近づくと、在庫調整等もあり更に受注高は期待できなくなる。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	年金で働いて限度を超えると減額されるシステムの矛盾。結果働かず年金をあてにしている現況。少子高齢社会で年配の方の労働意欲を下げている。精一杯働いて、年金を所得にして、所得税を払うシステムの方が財政上も良いと思うが。
	スーパー	品物の単価の下落、投げ売り（問屋）、超見切り品が出る。
	スーパー	大型ショッピングモールのファッションテナントオープンで、土日の流れが引かれている。
	コンビニエンスストア	新聞折り込み広告ではセールスのものが多く、よりデフレが進んでいくのではと感じます。
	農産物直売所	秋冬にかけて行政（SL等）及び自前のイベントの際の人は良かったが、今後の心配。
	小売業（燃料）	高額商品の売り上げが減っている。
	小売業（酒類）	製造業などの景気も良くない。若年層の酒離れも目立つ。
	小売業（水産物）	光熱費の値上げの話題が増えた気がする。
	居酒屋	宴会が非常に少ない。
	スナック	新しい車を購入する人が増えている。（エコカーに関してのみ）
	和食食堂	地元大手企業及び関連会社のお客さんの話では、良くなるという事はないだろうと言っている。
	タクシー運転手	公務員の綱紀粛正により、飲食店の使用が少ない。
	タクシー運転手	今スーパーに行くとな豆4パック55円、豆腐1丁48円などと低価格なものが数多く取り揃えてあり、安サラーにとっては大変ありがたいのだが、高額商品が売れにくいと聞く。経営者の方は売り上げをまとめるのに大変じゃないかとお察しします。
	タクシー運転手	この3か月間の売り上げの落ち込みは、私が景気ウォッチャーを書くようになってから一番大きい落ち込みだったと思います。原因は地元企業が使ってくれないことなのですが、地元企業もかなり苦しい状況かと思われます。
	ドライブイン	雇用が増加するような企業の伸びや良い話は伺えない。
	ゴルフ場	安い金額でも、客がさらに値引き交渉してくる。
	ゴルフ場	近隣地域企業の3月決算修正、25年経営改革（事業再編、円高対策、合併、海外進出等々）の報道を受け、関連企業、地元中小企業の生き残り戦略が急がれている。天候不順、震災、風評被害、長引くデフレ経済の前の状況に照らして、根本的改革が必至の状況である。
レジャー施設	市内のスーパーやチェーン店に買物に行くと、従前より客数が減っているように感じた。その都度レジの係員に尋ねると、今月は例年より客数が減っているところが多いと言う。県北地域の景気は、従来に増して厳しい状況だと思う。	
ゴルフ場	相変わらずシニア世代の来場は多いですが、若い世代の来場が減っているような気がします。時間的なものか、金銭的なものかは定かではありませんが、余暇を楽しむような余裕がないような気がします。	
理・美容店	食料品も含めて、サイクルが長くなった様に感じる。	
企業	林業関係者	木質バイオマスのための未利用材搬出等の利用調査等が進んでいるので、期待したいところである。
	水産業関係者	今に限ったことではないのだが、個人個人の自己管理の差が目につくように感じる。
	製造業（精密機器）	海外取引を意識した会社が出てきていると思う。
	製造業（製缶）	近隣企業のリストラが増えている。
	製造業（電気機械器具）	原子力発電所の地下に活断層があるため稼働できないとの報道があるが、日本は活断層だらけであり、たとえ活断層があっても安全上の問題がクリアされれば廃炉を前提に事を進めず、原子力発電所が稼働する事で成り立っている産業も多い。
	製造業（輸送用機械器具）	ここ最近、急速に不景気になっているように思う。同業者でも、雇用調整実施企業の数が増えているという話を耳にする。
	製造業（電気機械器具）	来春にかけ、大手取引先の再編が行われるため、我々の取引形態の変化が考えられ、先行きの不安がある。
	金融業	取引先は円高、増税、雇用対策等の話題が絶えない。経営者は相当危機感をもっており、設備投資を慎重に考えている。
	不動産業	販売面は大きな変化はないが堅調に推移。一方、復興工事の影響なのか施工のマンパワー（職人）が不足しているとの声をよく聞く。手間も少しずつ上昇しているとの事。
雇用	学校就業関係者	忘年会の会場がなかなか取れない。景気は決して悪くない気がした。
	求人開拓員	情報産業業界では、将来展望が見えず人材確保しておくべきか迷っているようだ。但し、技術者がいないと目先の受注も取れないので募集を出しているが、即戦力者がなかなか見つからない。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	お客様の低価格志向が、なお一層強くなっている。
	商店街代表者	衆議院総選挙後、政権交代があるのか、政権再編成があるのか、それにより景気対策があるのかによります。期待感で多少のインフレ傾向になるのか、失望感で再びデフレスパイラルに陥るのか分からない。来店客も先行き不安と言われる人が多く、内需拡大して、雇用対策、所得安定、少子化対策、老後生活の安定を確立していかないと消費は拡大していかない。量販店等での安価な商品購入が増え、ますます財布の紐は固く、個人商店は厳しい。
	百貨店、総合スーパー	慎重に考えながらも、高額であろうが良い物を購入されていくお客様が増えていると思います。
	スーパー	繁昌店はあります。ニーズ・サービスの徹底がされていると思います。
	スーパー	定番品は売れているが、新製品や贅沢品の売り上げが落ちている。(必要な物しか買わなくなっている)
	コンビニエンスストア	弁当のまとめ買いや特別注文の数が各店減少傾向。残業需要等が減少しているためと思われます。
	コンビニエンスストア	消費は全体的に冷えこんでいるが、価値のある商品への出費は高級輸入車などの販売増を見れば十分にありうと思う。
	家電販売店	今年は本当に不景気でした。
	農産物直売所	土日北関東道路に栃木、群馬ナンバーの車が昨年より増えているように思えるが、当店の駐車場のナンバーを見るとほとんど県外ナンバーはいないままである。
	専門スーパー	以前に比べて客単価が少しずつ落ちてきている。少しでも安い物を買われる方が増える傾向にある。
	スーパー	商品を買う時は味や品質ではなく、最初からPB商品や最安品を狙うそうです。
	レストラン	「接待で」という利用は減少している。
	レストラン	一部の企業では景気が良い話を聞く。
	レストラン	12月に関しては、意外と高額な商品が売れているのが特徴的です。
	割烹料理店	以前の忘年会という会社単位の大人数での宴会が主だったのですが、ここ数年は同じ会社でも仲の良い人達だけの少人数の宴会が多いような気がします。予算も年々安くなってきて、少人数・低予算での忘年会が多くなってきています。
	観光型ホテル	消費欲求はあっても先行き不安で手控える様子がうかがえる。
	旅行代理店	選挙によって、取消しが発生している。(選挙の際は動きが悪くなる傾向にある)
	旅行会社	11月末～12月始めにかけて業者さんからカレンダーが届くのですが、今年は少ない様です。
	ゴルフ場	いろいろと優待制度を実施しているが、周りのゴルフ場と比較されるとお客様は当倶楽部の料金を高いと感じているように見える。
	レジャー施設	お土産に関しては、自分用の土産には比較的高額の商品を購入する傾向が見られるが、家族や友人への土産品はできるだけ安価な商品を選ぶ傾向があるなど、消費傾向に変化が見られる。
理・美容店	大きな店が閉店し、1年以上売れないままでしたが(大きな土地なので)古い建物を壊し広々とした土地が見えた時には寂しく思いました。三代で終わり、私も三代で終わるつもりです。	
企業	製造業(窯業・土石製品)	一般消費者が中国石材の製品に対し嫌気をさしているようであるが、現実には国内産の需要が伸びてくる原因にはなっていない。
	製造業(一般機械器具)	年末の選挙どころではありません。国の先生方、下界へ降り、歩いて見てください。
	製造業(精密機械器具)	全く受注を予定していなかったOEM取引先数社から、突然纏まった台数の発注があったりと、先が読めない、判断の難しい市場環境となっています。
	運輸業(道路貨物運送業)	衆議院選挙はにぎやかなようだが、特に年末の忙しさは感じられない。
	情報通信業(情報サービス)	今あらゆる商品のインターネットによる購入が可能であり、年々売り上げが増え続けているとのこと。欲しい商品が、早く安価に手に入るので、店頭購入より利便性は極めて高い。いつも市街地商店街の元気のなさが気になっているが、これからは直接手にとって見たい商品は郊外大規模店でショッピング、小物商品はインターネットによる購入との流れが一層強まるのではないかと。市街地にも魅力ある商品を抱える店が多くあるが、対策はないのか。
	金融業	中心市街地の再開発が来春完成するため、複合施設(ホテル、病院、ショッピングモール等)のオープンに合わせ、近隣商店街の設備資金需要が若干見られる。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	小売業（米穀類）	震災関係で被害のあった建物や設備の復旧などに関係している業者はだいぶ忙しいようですので、少しは経済効果が出ればいいと思います。
	商店街代表者	相変わらず厳しい状況です。
	商店街代表者	価格の安いところに押されて、今までのようにメンテナンスなどを考えている人が少ない。買うのは量販店、メンテナンスは近くのお店と割り切っている人が多いと思う。
	スーパー	外国人労働者風のお客様が特に減っている。
	スーパー	正社員になりたくてもなれず、アルバイトで生活している若者が多い。必要な物しか買わない。
	コンビニエンスストア	高額おせちの売れ行きが良い。部分的にはありますが。価値、質を重視する方が増えている傾向と感じます。
	自動車販売店	特に動きはないが、政権の交代で経済対策の優先が見えるので、ある意味で良い方向への期待感があります。
	小売業（酒類）	最近常連の居酒屋とラーメン店が閉店しました。（厳しい状況であると言っていたが、「もう限界です」と言いました。）
	小売業（金物店）	大手企業同士が合併して工場が閉鎖し、下請け企業が暇になるのではないかと心配しています。また、大手企業の下請け企業が来て取引を始めました。今後どの様に経過が変わるか分かりません。
	衣料品販売店	必要ない商品は、低価格であっても買ってくれない。
	レストラン	消費が減っているし、自分でも購入する事も少ない。お料理、お飲物も持ち込みが多い。
	洋食食堂	大手製薬会社の注文が増えた。（病院・老人ホーム関係）高齢化への速度が速まっていると思う。ロードサイドに大型専門店が増える様に、老人ホーム（特養ホーム等）も増えている。
	割烹料理店	コンビナートの近くだが、コンビナート内の企業の業績も今ひとつだという話を聞いた。
	日本料理店	大手企業の合併であいさつの会合は増えたが、企業自体の会合は減っている。
	タクシー運転手	当地区の東電火力発電所の増設工事（二期）開始を受け、地域の活性化を期す。
	ドライブイン	景気にかかわらず、旬の農産物は良く売れます。
	ゴルフ場	来場人数はともかく、店内での売り上げが良くなってきている事もあるので、少しずつではあるが景気が回復してきているのではないだろうかと思う。
	理・美容店	建売りの家が建てている最中に売約になるそうです。月々のアパート代（6～7万円）で支払える予算での価格が大事だそうです。
	クリーニング店	1年半後に消費税が上がるので、なるべく今から出費しないようにしている。正社員ではあるが、別にアルバイトをしている方が見られる。
	室内装飾業	スーパーなどに買い物に行った時、ふと他の人の買い物かごを覗いてみたら、単価の低い商品が数多く入っていた。そしてまた、自分の買い物かごにも同じような商品が入っていた。
住宅販売会社	いつまでたっても先行き不安が消えない。	
企業	農業関係者	資材費が高騰しており、利益が上がらない。灯油（ビニールハウス内の温度を保つための暖房機用）の価格もかなり影響する。円安傾向にありながら、これらに反映してこない点が厳しい。
	製造業（食料品）	1回の買い物額が少ない。スーパーの特売等についても感心が無い。
	製造業（食料品）	最近、震災後急激に減った外国人労働者も増えてきており、客数増加に貢献している。
	建設業	若い人の雇用が改善されないと聞きますが、3Kと言われる建設業界にはなかなか人材が増えないと現場の声があります。
	建設業	震災の復興で道路、住宅の修理が盛んである。
	運輸業（道路貨物運送業）	産地直売所では野菜がたくさん売られているが、値段は安価である。生産者は大変ではないのか。
	保険業	市内に太陽光発電施設が多く建設されるようです。
	不動産業	去年の3月11日から、東北の企業の方が少しずつ営業所または工場を建築しているような気がする。震災関係でだいぶ他県の工事関係の車を目にします。
	サービス業	北関東自動車道の物流が、一時期に比べ減少した模様。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	買い物に来られる飲食店経営のお客様より、忘年会等と予約が年々減っていると良く聞く。
	スーパー	広告日の日替わり品のアイテム、または価格で、大きく客数に影響が出るようになった。
	コンビニエンスストア	子供に費やす費用は年々増している。子供を持つ親は今まで以上に無駄な出費は控える方向に傾いているように思います。
	農産物直売所	当店はレンコンが多く売れます。昨年は放射能の風評被害でまいちでしたが、今年は早い時期からレンコンの動きが良いです。11月29日現在で1日40箱(4kg入)、12月半ばから月末にかけては1日200箱売れます(宅急便で)。
	和食食堂	アルコールを飲む方、滞在時間が短くなりました。その分回転率は良くなっています。お客様の様子からしますと、忙しい、忙しくない両極端のようです。
	洋食食堂	地域の駐車場化、及び空洞化の中、震災後手付かずの建物が未だに目立つのが気になる。
	洋食食堂	葉メーカーの接待が全然なくなりました。法事のお客様は景気に関係なく、全体的に予約件数が多かったです。12月は客単価が上がり、少しお財布がゆるむ季節になります。
	都市型ホテル	選挙の影響で開催を見送る宴会もあり、今後の選挙の動向で変化も現れる。弊社の業種だけでなく、消費税の増税等消費者は景気に敏感なので、今後注力し、デフレスパイラルにはならぬよう消費者ニーズに併せた商品開発を進めていきたい。
	タクシー運転手	今だけの状況ではありますが、選挙の影響で飲食の集まりが控えられている。
	代行運転手	リフォーム屋さんや大工さんは少し忙しいと話を聞きます。消費税が上がる前の飛び込みの依頼や震災関係らしいです。
	ゴルフ場	来場者には会社経営をしている方も多くいるが、今後の経済状況を決して楽観できないとの話が多い。
	ゴルフ場	ここ数年毎年同じ事を記入しているが、相変わらず財布の紐が固い。年末に近くなっても、浮かれています様子が見当たらない。
	ボウリング場	年金受給者の使い控えが目立つ。本来の筋道から掛け離れた母子手当、高齢者の生活保護費と年金積立をしていた人の年金額、まったくもって正直者がバカを見る。こんなことが現実ですので、年金受給者(私もその1人)の使い控えが派生するのです。制度を信じる事ができないからです。
	理・美容店	総選挙の行方が最も関心が高いのか、皆政局の変化に意義や文句が多い。先の見えない日本を何とかしてほしい!
	建築設計事務所	木造住宅の耐震の診断補強に関するものが多くなってきた。
企業	製造業(食料品)	駅近くにスーパーが出来たので、少しでもお客様の流れができればいいと思います。
	製造業(窯業・土石製品)	当業界では、生コンの不足による工事の遅れを聞くようになった。生コンの不足に対処するため、工場で製造したコンクリート製品の使用が増えてきている。これから消費税の増税がみえており、住宅取得のかけ込み需要はあると思うが、個人消費が増えるとはとても思えない。地デジ化の時のように、一時的な需要はあってもその後の家電関連業界の落ち込みに見られるように、長続きせず、反動のほうが大きい。
	製造業(非鉄金属)	グローバル化による海外見積と競合し、見積額では勝てない。品質について一段と厳しくなっている。海外への生産シフトは一層強まり、国内競争は一段と激化する方向にある。
	建設業	某工場長(取締役・70歳)がタバコをやめるそうだ。健康状態ではなく、自ら率先して節約をし、年末のボーナスを1か月分支給するためにやめるという。給料も来年は10~15%カットすると言う(課長以上)。但し、人員削減はしない。4代目の社長だが、陣頭指揮をとるべく、本社より(県内)工場にまめに足を運び、従業員との懇談も頻繁に開き、労使の和を図っている事が生産に結びついている。
	建設業	近辺で住宅・アパートが相次いで建っている。しかし、ハウスメーカーばかりで、地元工務店が1社もない。土建屋も両極化が進んでいるのだろう。
	建設業	選挙があるものの、特にどうこうと動きはなし。
	建設業(設備工事業)	12月になり仕事を通してのお客様は「忙しい」と皆様話されますが、同様に「仕事はあっても利益が出ない」とも言っています。仕事を請け負うため、価格を下げないと仕事はないとの事でした。
	金融業	法人、個人に対する税金の未納による税務署からの調査依頼や差し押さえが依然として多い状況である。
	不動産業	とにかく選挙が終わり新体制にならないと先行きの景気の読みが出来ない。また、上記等の理由により景気の判断が出来ない。但し、業界の中でもここがチャンスと考えて体力のある生活習慣の良い会社の会社は今も良く、今後も支持を受けると思う。
雇用	学校就職関係者	自動車・重機レンタル業等は好景気が続いているようだが、全体的な動きとしてはマイナスに動いていると感じる。雇用情勢の悪化があり、正社員での採用は厳しい状況が見える。新卒でも電気事業関係の求人なくなったことで普通科の高校生の就職率が悪化していることから、先行き長く景気が低迷するだろうと思う。(工業の優秀な生徒が事務職の求人に流れ込み、普通科の偏差値の低い学校の生徒の求人を圧迫しているとのこと)
	求人開拓員	土浦地区の会社を訪問しているが、地元大手企業の工場でも今までは2桁台の契約社員を募集していたところが、求人数を数名に減らした。中国との関係の影響との事だ。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	政局が安定せず経済が悪い。創業100年以上の小売店だが、創業以来最悪です。
	商店街代表者	年金生活者でも比較的裕福な方が、「企業年金が停止になる」というニュースがあったとたん財布の紐が固くなりました。
	時計販売店	お客様の話の中に希望の材料がない。
	スーパー	小売では売価の下落が進んでいるように感じます。お客様の消費の落ち込みが原因のように思います。
	コンビニエンスストア	直近で地元首長選挙、地元市議補選、衆議院選挙に向けた動きなどで、関係者の来店や予約などが増加傾向です。昨年ではなかった動きであり、その面では若干プラスになっていると感じます。
	コンビニエンスストア	戸建住宅の購入が多くなってきています。増税前の大きな買い物が活発になってきていると思います。
	自動車販売店	閉塞感が常に漂い、明るい材料がありません。経営者さんは悪い事ばかり強調せず、良い事ももっと従業員に話し元気づけることも必要と思います。つまらない毎日ではなく、やる気の出る毎日になりたいものです。
	農産物直売所	お客様の購買意欲が低いようです。
	和食食堂	最近市内の交通量まで少なくなっている様に見え、スーパー等の人出も以前より減っているみたいだ。
	ラーメン店	ネットで商品とその価格を調べ、既存店で現物に触れて商品確認をして、最終的にネット通販で購入、またはTVショッピングで購入するなど、電化製品はもちろん、冷凍食品、さらには高齢者向けの宅配弁当なども、既存店外で購入されているようです。
	旅行代理店	燃料は値下げがなく、野菜等は高値のままである。白菜1株250円。これから税金の値上げがあるか心配である。衆議院選挙があるが、年末年始～春頃の景気は上がる事はないだろう。
	ビジネスホテル	例年に比べ、規模は小さいが映画やテレビロケが多く、企業さんの落ち込み分をカバーしている。
	タクシー運転手	私はよくアパレル業界の店の前を通りますが、いつも駐車場が満車状態。特に土日・祭日は、道路の方まで駐車場へ入るのに順番待ちしている状態です。業界によっては価格が安くても品質の良いものは消費者に受け入れられる。これが今の世の中の現状なのかもしれませんね。
	タクシー運転手	電話の減少並びに駅構内の乗り込み時間が長く、仕事の効率が非常に悪く、営業収入が上げられない。
	タクシー運転手	デフレ状態が蔓延している。
	タクシー運転手	衣類でも食品でも、価格の安い店は人が入っているけど、高い店に客はいない。
	ドライブイン	不景気を反映してかどうか、全国的に自動販売機荒らしが頻発しているが、当店でも3台が被害に遭った。
	ゲームセンター	生活に必要な物が揃っている店舗に人が集まっているように思われます。娯楽などの店舗はどこもお客様は少ない様に感じられます。
	理・美容店	お客様が来店日数を自身で把握しており、節約を心がけているようだ。
	クリーニング店	選挙の結果次第だと思うが…。
建築設計事務所	ITの世界（ネットの世界）の変革が、製造の世界（リアルの世界）でも導入・運用され始めた感がある。その流れに沿っている場所では景気・経済が動き出したかと。新産業革命と呼ぶ人もいる。	
企業	農業関係者	特に生産農家の売り上げが上らず、苦しい状況が続いている。
	製造業（食料品）	12月になって派遣の会社さんの営業で新規訪問が相次いであったので、もしかしたら各企業で人余りの傾向になりつつあるのかもしれないと感じました。
	製造業（印刷・同関連業）	中小企業・個人商店も含めて数十年続いた企業が、跡取り・後継者の問題でやめるところが増えていく。先を見越して倒産ではなく、誰にも迷惑をかけずの閉店・閉社。時代とはいえ、寂しい限りだ。夢の夢だが、日本人の半分以上の人が中流以上の意識を持つ時代の再来はもうないのか。
	製造業（窯業・土石製品）	当社の隣にあった会社が撤退して10年以上経って、最近新しい会社が操業を始めましたが、毎日残業の連続ですごく忙しい様子です。業種によって、また同じ業種でも業態や業者によって大きく差が出るとつくづく感じます。競争無くして成長無し、成長無くして高分配無しの考えでなければ、個人も会社も国家も存在価値を失います。
	製造業（金属製品）	総選挙を控え、内需産業は様子見がありそうだ。
	建設業	大手のショッピングモールができる事で、町全体の流れや活性化が大きく変わる。
	電気工事業	商店街に活気がなさそうに見受けられます。
	金融業	衆議院選挙の結果に伴う政権の動向で景気回復への不安と期待感が見受けられる。中国との関係が悪化している影響で、主に取引先の下請け製造業等で受注見込みが全く分からなくなってしまったとの声を耳にする。
	サービス業（コンサルタント業）	来年春過ぎには現在工事中の幹線道路が延伸して開通する予定です。幹線道路の開通は、その周辺に新たなビジネスが生まれてくると思いますので、来年春以降は景気活性化の兆しを感じられるかもしれません。
	雇用	人材派遣業
学校就職関係者		例年に比べ求人を出す企業は減っているものの、切羽詰った様子も見られ、繁閑二極化が進んでいる様に感ずる。
就職相談員		来春3月新卒者に内定を出している企業で、業績不振により現在の従業員が余剰になっている企業もある。